

令和 7 年 度
契 第 35 号

北小学校ほか1校 屋内運動場空調機設置（建築）工事設計書

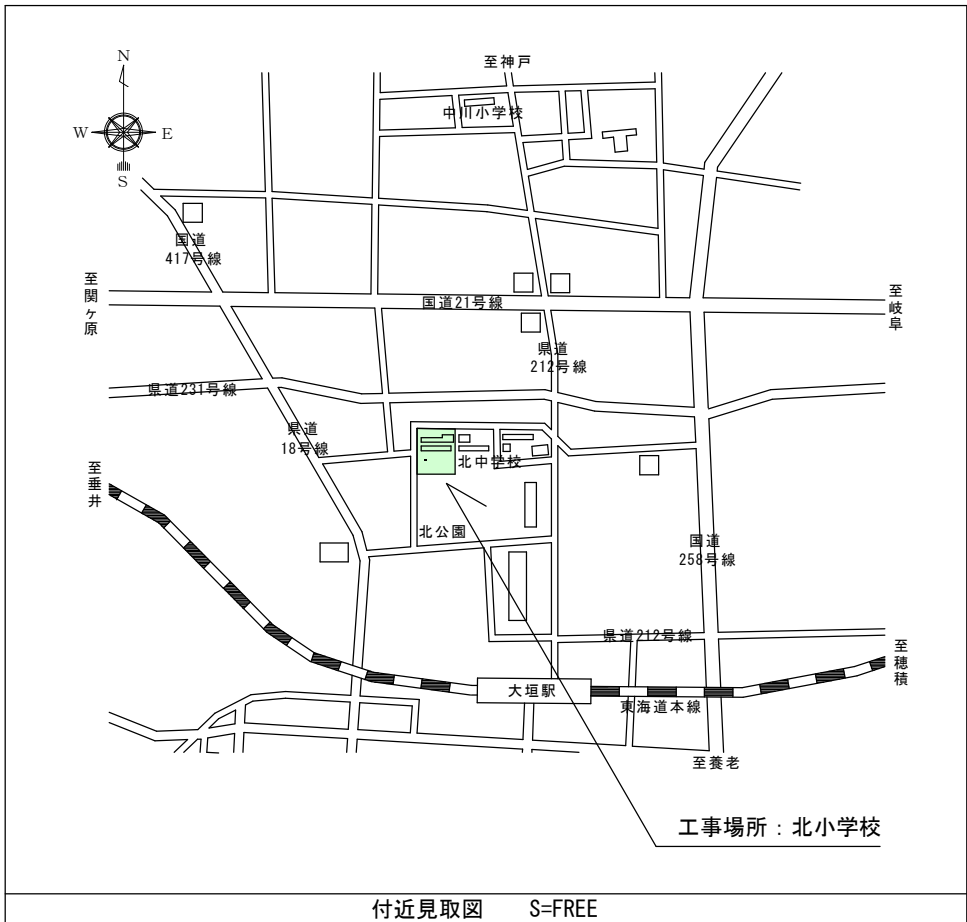
大垣市 八島町 地内 ほか

大 垣 市

工事名称 北小学校ほか1校 屋内運動場空調機設置（建築）工事			仮設工事		・工事期間中は工事範囲を適切に区画すること。また必要に応じて解体材・資材等の運搬経路を養生すること。 ・施工中、施設利用を考慮した仮設計画を立てること。 ・工事車両の搬入、搬出の際には、周囲の安全に十分配慮すること。 ・工事用水、工事電力は受注者の負担とする。 ・交通誘導員の配置は、工事期間で4人工程度とする。（鉄骨材搬入、コンクリ打設時各1人×2学校）		環境配慮工事		・本工事は、工事範囲の既設建材にアスベスト含有がないことが明らかであるため、大気汚染防止法に基づく事前調査は、対象外とする。（宇留生小：平成27年3月竣工） 受注者は、大気汚染防止法・同施行令・同施行規則、労働安全衛生法・同施行令、労働安全規則、石棉障害予防規則及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律・同施行令・同施行規則等を遵守し、万全な安全・衛生体制を確保し、施工すること。	
仕 様 書			解体工事		・解体工事はできる限り塵埃、騒音等の発生しにくい工法で施工すると共に、他の室への埃等の進入を防ぐために、養生を行うこと。また、解体により発生した廃材・ガラ等は、極力、リサイクルに努めること。		1）事前調査 以下の項目について ○印の付いたものを適用する。 ○書面調査 ○目視調査（建築物の着工日が平成18年9月1日以降である場合を除く。） ・分析調査（書面調査及び目視調査により石綿含有の有無が把握できない場合。） ○調査済結果確認（令和7年3月末調査） ○石綿含有建材【北小学校 床：長尺シート（器具庫） 内壁：仕上塗材（器具庫、ステージ） 天井：吸音板（ステージ） 外壁・軒天：ﾌﾌﾘﾘｼ吹付（下地調整材）】		・石綿含有みなし建材【 】 ※石綿含有みなし建材として積算している建材については、分析調査の結果により石綿の含有が認められない場合は、契約金額の減額対象建築石綿含有建材調査者又は一定の実地経験を積んだ一般建築物石綿含有建材調査者が事前調査を行うこと。	
工事概要			土工事		・埋め戻しはB種とし、各層300mm程度毎に締め固めること。		2）事前調査資格者 ・調査者は以下のいずれかの資格を有する者とする。 ①特定建築物石綿含有建材調査者 ②一般建築物石綿含有建材調査者 ③令和5年9月までに日本アスベスト調査診断協会に登録された者 ④一戸建て等石綿含有建材調査者（一戸建て住宅や共同住宅の住戸の内部のみ調査可能） ※石綿含有建材の種類が多岐に亘るような大規模建築物又は改修等を繰り返しており石綿含有建材の特定が難しい建築物につ		3）事前調査報告 岐阜県知事及び所轄労働基準監督署長へ報告を行うこと。 4）特定粉じん排出等作業にかかる掲示 本工事が大気汚染防止法に規定する特定工事に該当するか否かについて、297mm×420mm以上の掲示板にて工事表示板と併せて掲示し、特定建築材料に関する事前調査結果等を記載すること。	
官公署等への手続			鉄骨工事		(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による ■ 日本建築学会 「JASS6」「鉄骨精度検査指針」「鉄骨工事技術指針」 □ 社）日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」 □ 鉄骨製作監理技術者登録機構「突合せ継手の入れ違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」 (2) 工事監理者の承認を必要とするもの □製作工場 ■製作要領書 ■工作図 ■施工計画書 □認定または登録工場（大臣認定 S H M R J グレード） ■材料規格証明書※、または試験成績書 ■鋼材 ■高力ボルト □特殊ボルト □頭付スタッド ※社）日本鋼構造協会「建築鋼構造用鋼材の品質ガイドライン」の企画証明方法、又はミルシート ■社内検査表 (3) 工事監理者が行う検査項目 （ ■印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること ） □原寸検査 ■組立・開先検査 ■製品検査 ■建方検査 (4) 接合部の溶接は下記によること ■平成12年建設省告示第1464号 イ、ロ □鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要領（建築構造設計指針第12章） ■日本建築学会「溶接工作基準、同解説 I、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」 ■日本建築学会「鉄鋼工事技術指針 工事現場施工編」 (5) 接合部の検査 ■溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）		その他 ・「建設業退職者共済制度」に加入し、加入の標識を工事場所に掲示すること。 ・工事実績情報システム（CORINS）に登録すること。 ※請負代金500万円以上、登録前に監督員の確認要 ・本工事の下請業務及び建設資材等の購入において市内業者を活用するように努めること。 ・入札前に現場確認を行いたい場合は、大垣市総務部契約管財課契約ﾌｰﾑにその旨電話連絡を行うこと。 ・各仕様書にない工事関係様式については岐阜県建設工事共通仕様書に準拠すること。 ・工事表示板（900×1200 トﾞﾝｶﾁｬﾝｼﾞｼｰﾄ貼り）を設置する。 ・受注者の契約の相手方となる下請負人の健康保険等加入義務等については、大垣市工事請負契約約款第7条の3の規定に依る。 ・受注者は、法定外の労災保険に付さなければならない。 ・工事作業員は工事期間中、工事関係者と判別できるよう腕章等を身につけること。（受注者及び下請け含む） ・本工事は、大垣市ﾌﾌﾞｰﾙｽ実施要領に基づくﾌﾌﾞｰﾙｽ実施対象工事とする。 ・本工事は、「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、週休2日制工事の適否に関わらず、土曜日の休工に努める 「まんなかホリデー（中部地区統一の一斉休工）」に取組むものとする。なお、本取組は強制的な休工や工程の調整を求めるものではない。 ・休工とは、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所されている状態をいう。（巡回パトロールや保守点検等現場管理上必要な作業を行う場合を除く） ・再生資源利用（促進）計画書（現場掲示様式）を、工事現場の見やすい場所に掲示すること。また、同計画をインターネットに公表するように努めること。 ・接続可能な開発目標（SDGs）の普及啓発を図るため、受注者は可能な限り工事看板等にSDGsのアイコン等の掲示を行うこと。なお、掲示するアイコン等は工事の内容によるもの又は受注者の自らの取組みによるものとする。 ・現場施工の着手日は令和7年7月18日以降とする。 ・屋内運動場内の施工については、夏休み期間（7月19日～8月28日）に終わるように努めること。 ・受注者は、主任技術者又は監理技術者が情報通信技術を利用する方法により、現場の施工体制を確認するための措置を講じること。情報通信技術については、現場作業員の入退場が遠隔から確認できるものとする。 ・受注者は、主任技術者又は監理技術者が当該工事現場以外の場所から当該工事現場の状況の確認をするために、情報通信機器を設置し、かつ、当該機器を用いた通信を利用することが可能な環境を確保すること。情報通信機器については、遠隔の現場との必要なやりとりを確実に実施できるものとする。			
安全管理			コンクリート工事		・コンクリートは普通コンクリート（Fc＝21＋S N/mm ² 、ｽﾗﾌﾞ18）とする。 S：構造体強度補正値 ・捨てコンクリートは普通コンクリート（Fc＝18 N/mm ² ）とする。		その他		・「建設業退職者共済制度」に加入し、加入の標識を工事場所に掲示すること。 ・工事実績情報システム（CORINS）に登録すること。 ※請負代金500万円以上、登録前に監督員の確認要 ・本工事の下請業務及び建設資材等の購入において市内業者を活用するように努めること。 ・入札前に現場確認を行いたい場合は、大垣市総務部契約管財課契約ﾌｰﾑにその旨電話連絡を行うこと。 ・各仕様書にない工事関係様式については岐阜県建設工事共通仕様書に準拠すること。 ・工事表示板（900×1200 トﾞﾝｶﾁｬﾝｼﾞｼｰﾄ貼り）を設置する。 ・受注者の契約の相手方となる下請負人の健康保険等加入義務等については、大垣市工事請負契約約款第7条の3の規定に依る。 ・受注者は、法定外の労災保険に付さなければならない。 ・工事作業員は工事期間中、工事関係者と判別できるよう腕章等を身につけること。（受注者及び下請け含む） ・本工事は、大垣市ﾌﾌﾞｰﾙｽ実施要領に基づくﾌﾌﾞｰﾙｽ実施対象工事とする。 ・本工事は、「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、週休2日制工事の適否に関わらず、土曜日の休工に努める 「まんなかホリデー（中部地区統一の一斉休工）」に取組むものとする。なお、本取組は強制的な休工や工程の調整を求めるものではない。 ・休工とは、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所されている状態をいう。（巡回パトロールや保守点検等現場管理上必要な作業を行う場合を除く） ・再生資源利用（促進）計画書（現場掲示様式）を、工事現場の見やすい場所に掲示すること。また、同計画をインターネットに公表するように努めること。 ・接続可能な開発目標（SDGs）の普及啓発を図るため、受注者は可能な限り工事看板等にSDGsのアイコン等の掲示を行うこと。なお、掲示するアイコン等は工事の内容によるもの又は受注者の自らの取組みによるものとする。 ・現場施工の着手日は令和7年7月18日以降とする。 ・屋内運動場内の施工については、夏休み期間（7月19日～8月28日）に終わるように努めること。 ・受注者は、主任技術者又は監理技術者が情報通信技術を利用する方法により、現場の施工体制を確認するための措置を講じること。情報通信技術については、現場作業員の入退場が遠隔から確認できるものとする。 ・受注者は、主任技術者又は監理技術者が当該工事現場以外の場所から当該工事現場の状況の確認をするために、情報通信機器を設置し、かつ、当該機器を用いた通信を利用することが可能な環境を確保すること。情報通信機器については、遠隔の現場との必要なやりとりを確実に実施できるものとする。	
週休2日制工事			鉄筋工事		・鉄筋は鉄筋コンクリート用棒鋼（JIS G3112）SD295とし、重ね継手は可とする。		その他		・「建設業退職者共済制度」に加入し、加入の標識を工事場所に掲示すること。 ・工事実績情報システム（CORINS）に登録すること。 ※請負代金500万円以上、登録前に監督員の確認要 ・本工事の下請業務及び建設資材等の購入において市内業者を活用するように努めること。 ・入札前に現場確認を行いたい場合は、大垣市総務部契約管財課契約ﾌｰﾑにその旨電話連絡を行うこと。 ・各仕様書にない工事関係様式については岐阜県建設工事共通仕様書に準拠すること。 ・工事表示板（900×1200 トﾞﾝｶﾁｬﾝｼﾞｼｰﾄ貼り）を設置する。 ・受注者の契約の相手方となる下請負人の健康保険等加入義務等については、大垣市工事請負契約約款第7条の3の規定に依る。 ・受注者は、法定外の労災保険に付さなければならない。 ・工事作業員は工事期間中、工事関係者と判別できるよう腕章等を身につけること。（受注者及び下請け含む） ・本工事は、大垣市ﾌﾌﾞｰﾙｽ実施要領に基づくﾌﾌﾞｰﾙｽ実施対象工事とする。 ・本工事は、「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、週休2日制工事の適否に関わらず、土曜日の休工に努める 「まんなかホリデー（中部地区統一の一斉休工）」に取組むものとする。なお、本取組は強制的な休工や工程の調整を求めるものではない。 ・休工とは、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所されている状態をいう。（巡回パトロールや保守点検等現場管理上必要な作業を行う場合を除く） ・再生資源利用（促進）計画書（現場掲示様式）を、工事現場の見やすい場所に掲示すること。また、同計画をインターネットに公表するように努めること。 ・接続可能な開発目標（SDGs）の普及啓発を図るため、受注者は可能な限り工事看板等にSDGsのアイコン等の掲示を行うこと。なお、掲示するアイコン等は工事の内容によるもの又は受注者の自らの取組みによるものとする。 ・現場施工の着手日は令和7年7月18日以降とする。 ・屋内運動場内の施工については、夏休み期間（7月19日～8月28日）に終わるように努めること。 ・受注者は、主任技術者又は監理技術者が情報通信技術を利用する方法により、現場の施工体制を確認するための措置を講じること。情報通信技術については、現場作業員の入退場が遠隔から確認できるものとする。 ・受注者は、主任技術者又は監理技術者が当該工事現場以外の場所から当該工事現場の状況の確認をするために、情報通信機器を設置し、かつ、当該機器を用いた通信を利用することが可能な環境を確保すること。情報通信機器については、遠隔の現場との必要なやりとりを確実に実施できるものとする。	
事前調査			コンクリート工事		・コンクリートは普通コンクリート（Fc＝21＋S N/mm ² 、ｽﾗﾌﾞ18）とする。 S：構造体強度補正値 ・捨てコンクリートは普通コンクリート（Fc＝18 N/mm ² ）とする。		その他		・「建設業退職者共済制度」に加入し、加入の標識を工事場所に掲示すること。 ・工事実績情報システム（CORINS）に登録すること。 ※請負代金500万円以上、登録前に監督員の確認要 ・本工事の下請業務及び建設資材等の購入において市内業者を活用するように努めること。 ・入札前に現場確認を行いたい場合は、大垣市総務部契約管財課契約ﾌｰﾑにその旨電話連絡を行うこと。 ・各仕様書にない工事関係様式については岐阜県建設工事共通仕様書に準拠すること。 ・工事表示板（900×1200 トﾞﾝｶﾁｬﾝｼﾞｼｰﾄ貼り）を設置する。 ・受注者の契約の相手方となる下請負人の健康保険等加入義務等については、大垣市工事請負契約約款第7条の3の規定に依る。 ・受注者は、法定外の労災保険に付さなければならない。 ・工事作業員は工事期間中、工事関係者と判別できるよう腕章等を身につけること。（受注者及び下請け含む） ・本工事は、大垣市ﾌﾌﾞｰﾙｽ実施要領に基づくﾌﾌﾞｰﾙｽ実施対象工事とする。 ・本工事は、「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、週休2日制工事の適否に関わらず、土曜日の休工に努める 「まんなかホリデー（中部地区統一の一斉休工）」に取組むものとする。なお、本取組は強制的な休工や工程の調整を求めるものではない。 ・休工とは、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所されている状態をいう。（巡回パトロールや保守点検等現場管理上必要な作業を行う場合を除く） ・再生資源利用（促進）計画書（現場掲示様式）を、工事現場の見やすい場所に掲示すること。また、同計画をインターネットに公表するように努めること。 ・接続可能な開発目標（SDGs）の普及啓発を図るため、受注者は可能な限り工事看板等にSDGsのアイコン等の掲示を行うこと。なお、掲示するアイコン等は工事の内容によるもの又は受注者の自らの取組みによるものとする。 ・現場施工の着手日は令和7年7月18日以降とする。 ・屋内運動場内の施工については、夏休み期間（7月19日～8月28日）に終わるように努めること。 ・受注者は、主任技術者又は監理技術者が情報通信技術を利用する方法により、現場の施工体制を確認するための措置を講じること。情報通信技術については、現場作業員の入退場が遠隔から確認できるものとする。 ・受注者は、主任技術者又は監理技術者が当該工事現場以外の場所から当該工事現場の状況の確認をするために、情報通信機器を設置し、かつ、当該機器を用いた通信を利用することが可能な環境を確保すること。情報通信機器については、遠隔の現場との必要なやりとりを確実に実施できるものとする。	
工程及び搬入			コンクリート工事		・コンクリートは普通コンクリート（Fc＝21＋S N/mm ² 、ｽﾗﾌﾞ18）とする。 S：構造体強度補正値 ・捨てコンクリートは普通コンクリート（Fc＝18 N/mm ² ）とする。		その他		・「建設業退職者共済制度」に加入し、加入の標識を工事場所に掲示すること。 ・工事実績情報システム（CORINS）に登録すること。 ※請負代金500万円以上、登録前に監督員の確認要 ・本工事の下請業務及び建設資材等の購入において市内業者を活用するように努めること。 ・入札前に現場確認を行いたい場合は、大垣市総務部契約管財課契約ﾌｰﾑにその旨電話連絡を行うこと。 ・各仕様書にない工事関係様式については岐阜県建設工事共通仕様書に準拠すること。 ・工事表示板（900×1200 トﾞﾝｶﾁｬﾝｼﾞｼｰﾄ貼り）を設置する。 ・受注者の契約の相手方となる下請負人の健康保険等加入義務等については、大垣市工事請負契約約款第7条の3の規定に依る。 ・受注者は、法定外の労災保険に付さなければならない。 ・工事作業員は工事期間中、工事関係者と判別できるよう腕章等を身につけること。（受注者及び下請け含む） ・本工事は、大垣市ﾌﾌﾞｰﾙｽ実施要領に基づくﾌﾌﾞｰﾙｽ実施対象工事とする。 ・本工事は、「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、週休2日制工事の適否に関わらず、土曜日の休工に努める 「まんなかホリデー（中部地区統一の一斉休工）」に取組むものとする。なお、本取組は強制的な休工や工程の調整を求めるものではない。 ・休工とは、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所されている状態をいう。（巡回パトロールや保守点検等現場管理上必要な作業を行う場合を除く） ・再生資源利用（促進）計画書（現場掲示様式）を、工事現場の見やすい場所に掲示すること。また、同計画をインターネットに公表するように努めること。 ・接続可能な開発目標（SDGs）の普及啓発を図るため、受注者は可能な限り工事看板等にSDGsのアイコン等の掲示を行うこと。なお、掲示するアイコン等は工事の内容によるもの又は受注者の自らの取組みによるものとする。 ・現場施工の着手日は令和7年7月18日以降とする。 ・屋内運動場内の施工については、夏休み期間（7月19日～8月28日）に終わるように努めること。 ・受注者は、主任技術者又は監理技術者が情報通信技術を利用する方法により、現場の施工体制を確認するための措置を講じること。情報通信技術については、現場作業員の入退場が遠隔から確認できるものとする。 ・受注者は、主任技術者又は監理技術者が当該工事現場以外の場所から当該工事現場の状況の確認をするために、情報通信機器を設置し、かつ、当該機器を用いた通信を利用することが可能な環境を確保すること。情報通信機器については、遠隔の現場との必要なやりとりを確実に実施できるものとする。	
官公署等への手続			鉄骨工事		(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による ■ 日本建築学会 「JASS6」「鉄骨精度検査指針」「鉄骨工事技術指針」 □ 社）日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」 □ 鉄骨製作監理技術者登録機構「突合せ継手の入れ違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」 (2) 工事監理者の承認を必要とするもの □製作工場 ■製作要領書 ■工作図 ■施工計画書 □認定または登録工場（大臣認定 S H M R J グレード） ■材料規格証明書※、または試験成績書 ■鋼材 ■高力ボルト □特殊ボルト □頭付スタッド ※社）日本鋼構造協会「建築鋼構造用鋼材の品質ガイドライン」の企画証明方法、又はミルシート ■社内検査表 (3) 工事監理者が行う検査項目 （ ■印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること ） □原寸検査 ■組立・開先検査 ■製品検査 ■建方検査 (4) 接合部の溶接は下記によること ■平成12年建設省告示第1464号 イ、ロ □鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要領（建築構造設計指針第12章） ■日本建築学会「溶接工作基準、同解説 I、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」 ■日本建築学会「鉄鋼工事技術指針 工事現場施工編」 (5) 接合部の検査 ■溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）		その他		・「建設業退職者共済制度」に加入し、加入の標識を工事場所に掲示すること。 ・工事実績情報システム（CORINS）に登録すること。 ※請負代金500万円以上、登録前に監督員の確認要 ・本工事の下請業務及び建設資材等の購入において市内業者を活用するように努めること。 ・入札前に現場確認を行いたい場合は、大垣市総務部契約管財課契約ﾌｰﾑにその旨電話連絡を行うこと。 ・各仕様書にない工事関係様式については岐阜県建設工事共通仕様書に準拠すること。 ・工事表示板（900×1200 トﾞﾝｶﾁｬﾝｼﾞｼｰﾄ貼り）を設置する。 ・受注者の契約の相手方となる下請負人の健康保険等加入義務等については、大垣市工事請負契約約款第7条の3の規定に依る。 ・受注者は、法定外の労災保険に付さなければならない。 ・工事作業員は工事期間中、工事関係者と判別できるよう腕章等を身につけること。（受注者及び下請け含む） ・本工事は、大垣市ﾌﾌﾞｰﾙｽ実施要領に基づくﾌﾌﾞｰﾙｽ実施対象工事とする。 ・本工事は、「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、週休2日制工事の適否に関わらず、土曜日の休工に努める 「まんなかホリデー（中部地区統一の一斉休工）」に取組むものとする。なお、本取組は強制的な休工や工程の調整を求めるものではない。 ・休工とは、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所されている状態をいう。（巡回パトロールや保守点検等現場管理上必要な作業を行う場合を除く） ・再生資源利用（促進）計画書（現場掲示様式）を、工事現場の見やすい場所に掲示すること。また、同計画をインターネットに公表するように努めること。 ・接続可能な開発目標（SDGs）の普及啓発を図るため、受注者は可能な限り工事看板等にSDGsのアイコン等の掲示を行うこと。なお、掲示するアイコン等は工事の内容によるもの又は受注者の自らの取組みによるものとする。 ・現場施工の着手日は令和7年7月18日以降とする。 ・屋内運動場内の施工については、夏休み期間（7月19日～8月28日）に終わるように努めること。 ・受注者は、主任技術者又は監理技術者が情報通信技術を利用する方法により、現場の施工体制を確認するための措置を講じること。情報通信技術については、現場作業員の入退場が遠隔から確認できるものとする。 ・受注者は、主任技術者又は監理技術者が当該工事現場以外の場所から当該工事現場の状況の確認をするために、情報通信機器を設置し、かつ、当該機器を用いた通信を利用することが可能な環境を確保すること。情報通信機器については、遠隔の現場との必要なやりとりを確実に実施できるものとする。	
安全			鉄骨工事		(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による ■ 日本建築学会 「JASS6」「鉄骨精度検査指針」「鉄骨工事技術指針」 □ 社）日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」 □ 鉄骨製作監理技術者登録機構「突合せ継手の入れ違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」 (2) 工事監理者の承認を必要とするもの □製作工場 ■製作要領書 ■工作図 ■施工計画書 □認定または登録工場（大臣認定 S H M R J グレード） ■材料規格証明書※、または試験成績書 ■鋼材 ■高力ボルト □特殊ボルト □頭付スタッド ※社）日本鋼構造協会「建築鋼構造用鋼材の品質ガイドライン」の企画証明方法、又はミルシート ■社内検査表 (3) 工事監理者が行う検査項目 （ ■印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること ） □原寸検査 ■組立・開先検査 ■製品検査 ■建方検査 (4) 接合部の溶接は下記によること ■平成12年建設省告示第1464号 イ、ロ □鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要領（建築構造設計指針第12章） ■日本建築学会「溶接工作基準、同解説 I、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」 ■日本建築学会「鉄鋼工事技術指針 工事現場施工編」 (5) 接合部の検査 ■溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）		その他		・「建設業退職者共済制度」に加入し、加入の標識を工事場所に掲示すること。 ・工事実績情報システム（CORINS）に登録すること。 ※請負代金500万円以上、登録前に監督員の確認要 ・本工事の下請業務及び建設資材等の購入において市内業者を活用するように努めること。 ・入札前に現場確認を行いたい場合は、大垣市総務部契約管財課契約ﾌｰﾑにその旨電話連絡を行うこと。 ・各仕様書にない工事関係様式については岐阜県建設工事共通仕様書に準拠すること。 ・工事表示板（900×1200 トﾞﾝｶﾁｬﾝｼﾞｼｰﾄ貼り）を設置する。 ・受注者の契約の相手方となる下請負人の健康保険等加入義務等については、大垣市工事請負契約約款第7条の3の規定に依る。 ・受注者は、法定外の労災保険に付さなければならない。 ・工事作業員は工事期間中、工事関係者と判別できるよう腕章等を身につけること。（受注者及び下請け含む） ・本工事は、大垣市ﾌﾌﾞｰﾙｽ実施要領に基づくﾌﾌﾞｰﾙｽ実施対象工事とする。 ・本工事は、「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、週休2日制工事の適否に関わらず、土曜日の休工に努める 「まんなかホリデー（中部地区統一の一斉休工）」に取組むものとする。なお、本取組は強制的な休工や工程の調整を求めるものではない。 ・休工とは、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所されている状態をいう。（巡回パトロールや保守点検等現場管理上必要な作業を行う場合を除く） ・再生資源利用（促進）計画書（現場掲示様式）を、工事現場の見やすい場所に掲示すること。また、同計画をインターネットに公表するように努めること。 ・接続可能な開発目標（SDGs）の普及啓発を図るため、受注者は可能な限り工事看板等にSDGsのアイコン等の掲示を行うこと。なお、掲示するアイコン等は工事の内容によるもの又は受注者の自らの取組みによるものとする。 ・現場施工の着手日は令和7年7月18日以降とする。 ・屋内運動場内の施工については、夏休み期間（7月19日～8月28日）に終わるように努めること。 ・受注者は、主任技術者又は監理技術者が情報通信技術を利用する方法により、現場の施工体制を確認するための措置を講じること。情報通信技術については、現場作業員の入退場が遠隔から確認できるものとする。 ・受注者は、主任技術者又は監理技術者が当該工事現場以外の場所から当該工事現場の状況の確認をするために、情報通信機器を設置し、かつ、当該機器を用いた通信を利用することが可能な環境を確保すること。情報通信機器については、遠隔の現場との必要なやりとりを確実に実施できるものとする。	
保険等			コンクリート工事		・コンクリートは普通コンクリート（Fc＝21＋S N/mm ² 、ｽﾗﾌﾞ18）とする。 S：構造体強度補正値 ・捨てコンクリートは普通コンクリート（Fc＝18 N/mm ² ）とする。		その他		・「建設業退職者共済制度」に加入し、加入の標識を工事場所に掲示すること。 ・工事実績情報システム（CORINS）に登録すること。 ※請負代金500万円以上、登録前に監督員の確認要 ・本工事の下請業務及び建設資材等の購入において市内業者を活用するように努めること。 ・入札前に現場確認を行いたい場合は、大垣市総務部契約管財課契約ﾌｰﾑにその旨電話連絡を行うこと。 ・各仕様書にない工事関係様式については岐阜県建設工事共通仕様書に準拠すること。 ・工事表示板（900×1200 トﾞﾝｶﾁｬﾝｼﾞｼｰﾄ貼り）を設置する。 ・受注者の契約の相手方となる下請負人の健康保険等加入義務等については、大垣市工事請負契約約款第7条の3の規定に依る。 ・受注者は、法定外の労災保険に付さなければならない。 ・工事作業員は工事期間中、工事関係者と判別できるよう腕章等を身につけること。（受注者及び下請け含む） ・本工事は、大垣市ﾌﾌﾞｰﾙｽ実施要領に基づくﾌﾌﾞｰﾙｽ実施対象工事とする。 ・本工事は、「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、週休2日制工事の適否に関わらず、土曜日の休工に努める 「まんなかホリデー（中部地区統一の一斉休工）」に取組むものとする。なお、本取組は強制的な休工や工程の調整を求めるものではない。 ・休工とは、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所されている状態をいう。（巡回パトロールや保守点検等現場管理上必要な作業を行う場合を除く） ・再生資源利用（促進）計画書（現場掲示様式）を、工事現場の見やすい場所に掲示すること。また、同計画をインターネットに公表するように努めること。 ・接続可能な開発目標（SDGs）の普及啓発を図るため、受注者は可能な限り工事看板等にSDGsのアイコン等の掲示を行うこと。なお、掲示するアイコン等は工事の内容によるもの又は受注者の自らの取組みによるものとする。 ・現場施工の着手日は令和7年7月18日以降とする。 ・屋内運動場内の施工については、夏休み期間（7月19日～8月28日）に終わるように努めること。 ・受注者は、主任技術者又は監理技術者が情報通信技術を利用する方法により、現場の施工体制を確認するための措置を講じること。情報通信技術については、現場作業員の入退場が遠隔から確認できるものとする。 ・受注者は、主任技術者又は監理技術者が当該工事現場以外の場所から当該工事現場の状況の確認をするために、情報通信機器を設置し、かつ、当該機器を用いた通信を利用することが可能な環境を確保すること。情報通信機器については、遠隔の現場との必要なやりとりを確実に実施できるものとする。	
使用材料工法			鉄骨工事		(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による ■ 日本建築学会 「JASS6」「鉄骨精度検査指針」「鉄骨工事技術指針」 □ 社）日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」 □ 鉄骨製作監理技術者登録機構「突合せ継手の入れ違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」 (2) 工事監理者の承認を必要とするもの □製作工場 ■製作要領書 ■工作図 ■施工計画書 □認定または登録工場（大臣認定 S H M R J グレード） ■材料規格証明書※、または試験成績書 ■鋼材 ■高力ボルト □特殊ボルト □頭付スタッド ※社）日本鋼構造協会「建築鋼構造用鋼材の品質ガイドライン」の企画証明方法、又はミルシート ■社内検査表 (3) 工事監理者が行う検査項目 （ ■印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること ） □原寸検査 ■組立・開先検査 ■製品検査 ■建方検査 (4) 接合部の溶接は下記によること ■平成12年建設省告示第1464号 イ、ロ □鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要領（建築構造設計指針第12章） ■日本建築学会「溶接工作基準、同解説 I、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」 ■日本建築学会「鉄鋼工事技術指針 工事現場施工編」 (5) 接合部の検査 ■溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）		その他		・「建設業退職者共済制度」に加入し、加入の標識を工事場所に掲示すること。 ・工事実績情報システム（CORINS）に登録すること。 ※請負代金500万円以上、登録前に監督員の確認要 ・本工事の下請業務及び建設資材等の購入において市内業者を活用するように努めること。 ・入札前に現場確認を行いたい場合は、大垣市総務部契約管財課契約ﾌｰﾑにその旨電話連絡を行うこと。 ・各仕様書にない工事関係様式については岐阜県建設工事共通仕様書に準拠すること。 ・工事表示板（900×1200 トﾞﾝｶﾁｬﾝｼﾞｼｰﾄ貼り）を設置する。 ・受注者の契約の相手方となる下請負人の健康保険等加入義務等については、大垣市工事請負契約約款第7条の3の規定に依る。 ・受注者は、法定外の労災保険に付さなければならない。 ・工事作業員は工事期間中、工事関係者と判別できるよう腕章等を身につけること。（受注者及び下請け含む） ・本工事は、大垣市ﾌﾌﾞｰﾙｽ実施要領に基づくﾌﾌﾞｰﾙｽ実施対象工事とする。 ・本工事は、「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、週休2日制工事の適否に関わらず、土曜日の休工に努める 「まんなかホリデー（中部地区統一の一斉休工）」に取組むものとする。なお、本取組は強制的な休工や工程の調整を求めるものではない。 ・休工とは、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所されている状態をいう。（巡回パトロールや保守点検等現場管理上必要な作業を行う場合を除く） ・再生資源利用（促進）計画書（現場掲示様式）を、工事現場の見やすい場所に掲示すること。また、同計画をインターネットに公表するように努めること。 ・接続可能な開発目標（SDGs）の普及啓発を図るため、受注者は可能な限り工事看板等にSDGsのアイコン等の掲示を行うこと。なお、掲示するアイコン等は工事の内容によるもの又は受注者の自らの取組みによるものとする。 ・現場施工の着手日は令和7年7月18日以降とする。 ・屋内運動場内の施工については、夏休み期間（7月19日～8月28日）に終わるように努めること。 ・受注者は、主任技術者又は監理技術者が情報通信技術を利用する方法により、現場の施工体制を確認するための措置を講じること。情報通信技術については、現場作業員の入退場が遠隔から確認できるものとする。 ・受注者は、主任技術者又は監理技術者が当該工事現場以外の場所から当該工事現場の状況の確認をするために、情報通信機器を設置し、かつ、当該機器を用いた通信を利用することが可能な環境を確保すること。情報通信機器については、遠隔の現場との必要なやりとりを確実に実施できるものとする。	
施工計画			鉄筋工事		・鉄筋は鉄筋コンクリート用棒鋼（JIS G3112）SD295とし、重ね継手は可とする。		その他		・「建設業退職者共済制度」に加入し、加入の標識を工事場所に掲示すること。 ・工事実績情報システム（CORINS）に登録すること。 ※請負代金500万円以上、登録前に監督員の確認要 ・本工事の下請業務及び建設資材等の購入において市内業者を活用するように努めること。 ・入札前に現場確認を行いたい場合は、大垣市総務部契約管財課契約ﾌｰﾑにその旨電話連絡を行うこと。 ・各仕様書にない工事関係様式については岐阜県建設工事共通仕様書に準拠すること。 ・工事表示板（900×1200 トﾞﾝｶﾁｬﾝｼﾞｼｰﾄ貼り）を設置する。 ・受注者の契約の相手方となる下請負人の健康保険等加入義務等については、大垣市工事請負契約約款第7条の3の規定に依る。 ・受注者は、法定外の労災保険に付さなければならない。 ・工事作業員は工事期間中、工事関係者と判別できるよう腕章等を身につけること。（受注者及び下請け含む） ・本工事は、大垣市ﾌﾌﾞｰﾙｽ実施要領に基づくﾌﾌﾞｰﾙｽ実施対象工事とする。 ・本工事は、「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、週休2日制工事の適否に関わらず、土曜日の休工に努める 「まんなかホリデー（中部地区統一の一斉休工）」に取組むものとする。なお、本取組は強制的な休工や工程の調整を求めるものではない。 ・休工とは、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所されている状態をいう。（巡回パトロールや保守点検等現場管理上必要な作業を行う場合を除く） ・再生資源利用（促進）計画書（現場掲示様式）を、工事現場の見やすい場所に掲示すること。また、同計画をインターネットに公表するように努めること。 ・接続可能な開発目標（SDGs）の普及啓発を図るため、受注者は可能な限り工事看板等にSDGsのアイコン等の掲示を行うこと。なお、掲示するアイコン等は工事の内容によるもの又は受注者の自らの取組みによるものとする。 ・現場施工の着手日は令和7年7月18日以降とする。 ・屋内運動場内の施工については、夏休み期間（7月19日～8月28日）に終わるように努めること。 ・受注者は、主任技術者又は監理技術者が情報通信技術を利用する方法により、現場の施工体制を確認するための措置を講じること。情報通信技術については、現場作業員の入退場が遠隔から確認できるものとする。 ・受注者は、主任技術者又は監理技術者が当該工事現場以外の場所から当該工事現場の状況の確認をするために、情報通信機器を設置し、かつ、当該機器を用いた通信を利用することが可能な環境を確保すること。情報通信機器については、遠隔の現場との必要なやりとりを確実に実施できるものとする。	
施工図等			コンクリート工事		・コンクリートは普通コンクリート（Fc＝21＋S N/mm ² 、ｽﾗﾌﾞ18）とする。 S：構造体強度補正値 ・捨てコンクリートは普通コンクリート（Fc＝18 N/mm ² ）とする。		その他		・「建設業退職者共済制度」に加入し、加入の標識を工事場所に掲示すること。 ・工事実績情報システム（CORINS）に登録すること。 ※請負代金500万円以上、登録前に監督員の確認要 ・本工事の下請業務及び建設資材等の購入において市内業者を活用するように努めること。 ・入札前に現場確認を行いたい場合は、大垣市総務部契約管財課契約ﾌｰﾑにその旨電話連絡を行うこと。 ・各仕様書にない工事関係様式については岐阜県建設工事共通仕様書に準拠すること。 ・工事表示板（900×1200 トﾞﾝｶﾁｬﾝｼﾞｼｰﾄ貼り）を設置する。 ・受注者の契約の相手方となる下請負人の健康保険等加入義務等については、大垣市工事請負契約約款第7条の3の規定に依る。 ・受注者は、法定外の労災保険に付さなければならない。 ・工事作業員は工事期間中、工事関係者と判別できるよう腕章等を身につけること。（受注者及び下請け含む） ・本工事は、大垣市ﾌﾌﾞｰﾙｽ実施要領に基づくﾌﾌﾞｰﾙｽ実施対象工事とする。 ・本工事は、「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、週休2日制工事の適否に関わらず、土曜日の休工に努める 「まんなかホリデー（中部地区統一の一斉休工）」に取組むものとする。なお、本取組は強制的な休工や工程の調整を求めるものではない。 ・休工とは、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所されている状態をいう。（巡回パトロールや保守点検等現場管理上必要な作業を行う場合を除く） ・再生資源利用（促進）計画書（現場掲示様式）を、工事現場の見やすい場所に掲示すること。また、同計画をインターネットに公表するように努めること。 ・接続可能な開発目標（SDGs）の普及啓発を図るため、受注者は可能な限り工事看板等にSDGsのアイコン等の掲示を行うこと。なお、掲示するアイコン等は工事の内容によるもの又は受注者の自らの取組みによるものとする。 ・現場施工の着手日は令和7年7月18日以降とする。 ・屋内運動場内の施工については、夏休み期間（7月19日～8月28日）に終わるように努めること。 ・受注者は、主任技術者又は監理技術者が情報通信技術を利用する方法により、現場の施工体制を確認するための措置を講じること。情報通信技術については、現場作業員の入退場が遠隔から確認できるものとする。 ・受注者は、主任技術者又は監理技術者が当該工事現場以外の場所から当該工事現場の状況の確認をするために、情報通信機器を設置し、かつ、当該機器を用いた通信を利用することが可能な環境を確保すること。情報通信機器については、遠隔の現場との必要なやりとりを確実に実施できるものとする。	
隠蔽部の検査			鉄骨工事		(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による ■ 日本建築学会 「JASS6」「鉄骨精度検査指針」「鉄骨工事技術指針」 □ 社）日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」 □ 鉄骨製作監理技術者登録機構「突合せ継手の入れ違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」 (2) 工事監理者の承認を必要とするもの □製作工場 ■製作要領書 ■工作図 ■施工計画書 □認定または登録工場（大臣認定 S H M R J グレード） ■材料規格証明書※、または試験成績書 ■鋼材 ■高力ボルト □特殊ボルト □頭付スタッド ※社）日本鋼構造協会「建築鋼構造用鋼材の品質ガイドライン」の企画証明方法、又はミルシート ■社内検査表 (3) 工事監理者が行う検査項目 （ ■印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること ） □原寸検査 ■組立・開先検査 ■製品検査 ■建方検査 (4) 接合部の溶接は下記によること ■平成12年建設省告示第1464号 イ、ロ □鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要領（建築構造設計指針第12章） ■日本建築学会「溶接工作基準、同解説 I、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」 ■日本建築学会「鉄鋼工事技術指針 工事現場施工編」 (5) 接合部の検査 ■溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）		その他		・「建設業退職者共済制度」に加入し、加入の標識を工事場所に掲示すること。 ・工事実績情報システム（CORINS）に登録すること。 ※請負代金500万円以上、登録前に監督員の確認要 ・本工事の下請業務及び建設資材等の購入において市内業者を活用するように努めること。 ・入札前に現場確認を行いたい場合は、大垣市総務部契約管財課契約ﾌｰﾑにその旨電話連絡を行うこと。 ・各仕様書にない工事関係様式については岐阜県建設工事共通仕様書に準拠すること。 ・工事表示板（900×1200 トﾞﾝｶﾁｬﾝｼﾞｼｰﾄ貼り）を設置する。 ・受注者の契約の相手方となる下請負人の健康保険等加入義務等については、大垣市工事請負契約約款第7条の3の規定に依る。 ・受注者は、法定外の労災保険に付さなければならない。 ・工事作業員は工事期間中、工事関係者と判別できるよう腕章等を身につけること。（受注者及び下請け含む） ・本工事は、大垣市ﾌﾌﾞｰﾙｽ実施要領に基づくﾌﾌﾞｰﾙｽ実施対象工事とする。 ・本工事は、「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、週休2日制工事の適否に関わらず、土曜日の休工に努める 「まんなかホリデー（中部地区統一の一斉休工）」に取組むものとする。なお、本取組は強制的な休工や工程の調整を求めるものではない。 ・休工とは、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所されている状態をいう。（巡回パトロールや保守点検等現場管理上必要な作業を行う場合を除く） ・再生資源利用（促進）計画書（現場掲示様式）を、工事現場の見やすい場所に掲示すること。また、同計画をインターネットに公表するように努めること。 ・接続可能な開発目標（SDGs）の普及啓発を図るため、受注者は可能な限り工事看板等にSDGsのアイコン等の掲示を行うこと。なお、掲示するアイコン等は工事の内容によるもの又は受注者の自らの取組みによるものとする。 ・現場施工の着手日は令和7年7月18日以降とする。 ・屋内運動場内の施工については、夏休み期間（7月19日～8月28日）に終わるように努めること。 ・受注者は	

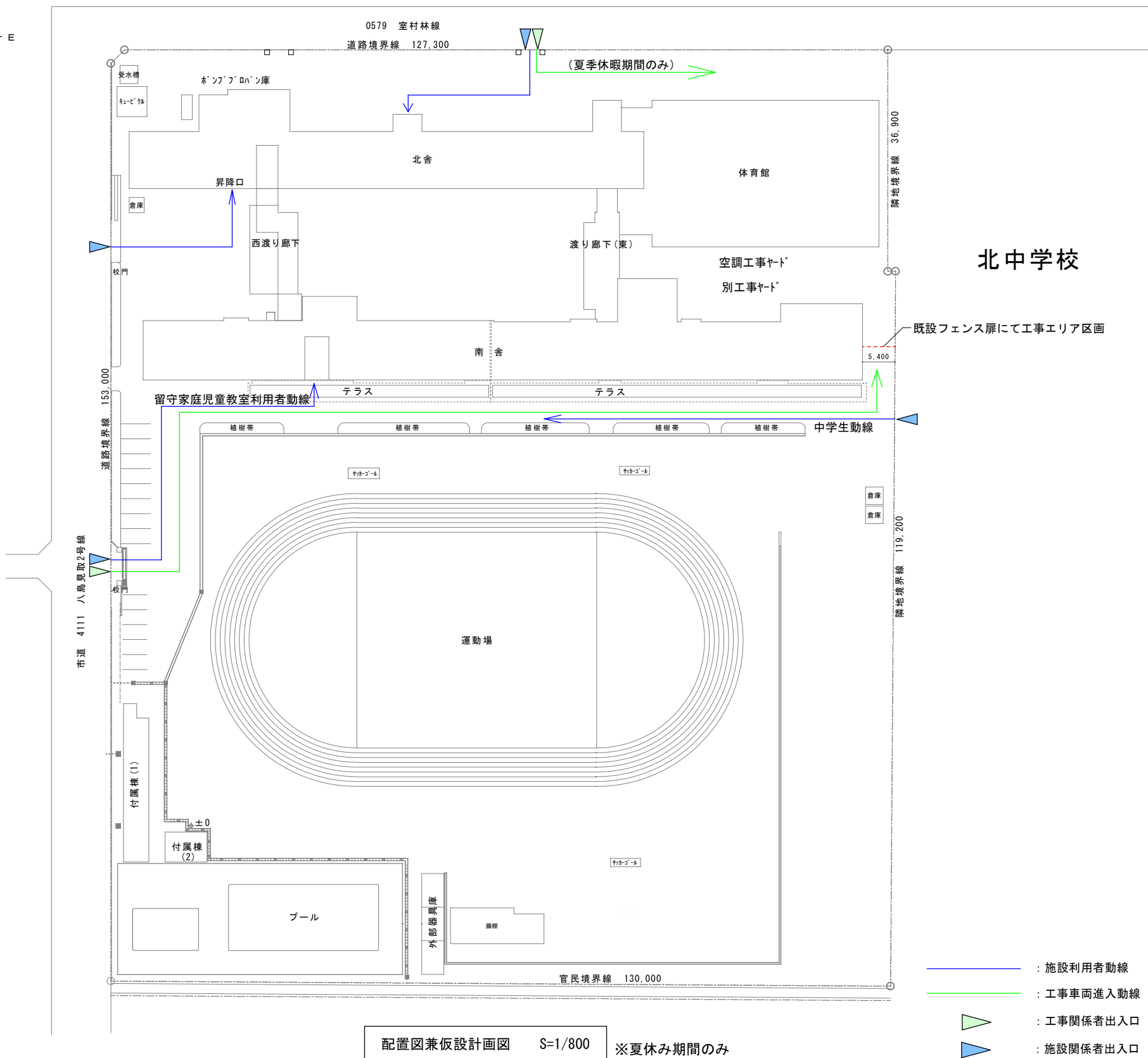
提出書類表

R06.4～

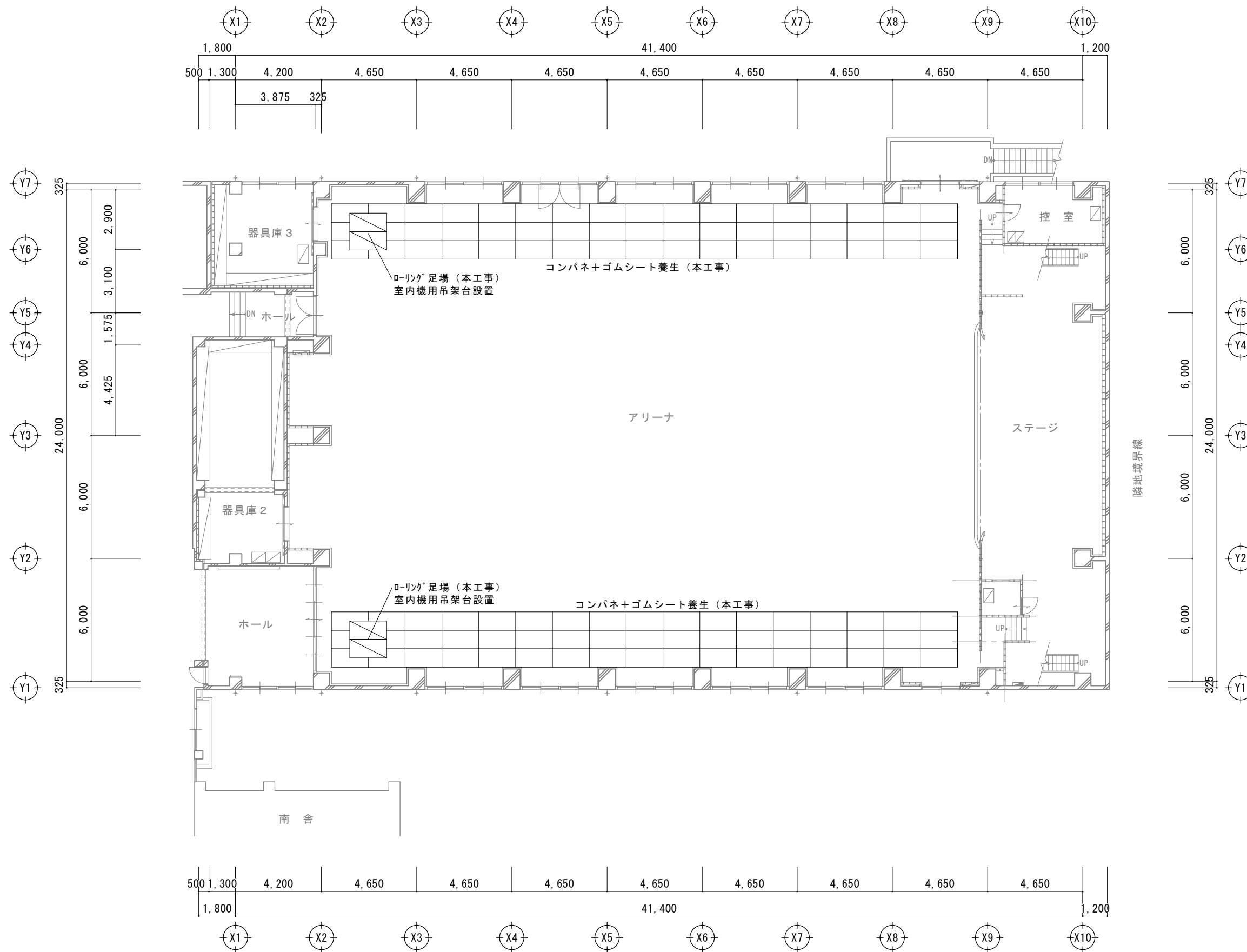


工 事 区 分 表								
適用	項 目	建 築	電 気	空 調	衛 生	土 木	別 途	備 考
○	直接仮設	○		○				平面図による
○	関係官公署への申請手続	○		○				
	関係官公署の各種負担金							
○	内部足場（軽微なものは除く）	○						
○	外部足場			○				
	給・排水設備の工事完了後の検査手数料							
○	設備機器設置用のコンクリート基礎	○						特記無き限り建築工事
○	設備機器設置用のフェンス（防音、目隠し、メッシュ）	○						
○	設備機器設置用のフック用孔開及び箱入			○				
○	設備機器設置用のフック及び埋戻			○				
○	室外機設置用の鋼製架台	○						
○	設備機器設置用のコンクリート基礎の仕上	○						
○	外壁支持金物			○				
○	設備配管貫通穴あけ			○				
○	同上の配管後開口部ふさぎ			○				
○	同上の配管廻のシーリング			○				
○	一般天井の設備機器取付用穴開			○				
	設備機器取付用の壁及び天井の補強							
	室内機取付用の壁又は天井の架台							
○	室内機設置用の鋼製架台	○						
	点検用通路の配管上を通行するための歩廊	○						
○	天井（軒天井）の解体復旧（脱着を含む）	○						
○	上記に伴う照明等機器脱着			○				
○	天井及び床の点検口	○						
○	空調設備用の一般電動機			○				
○	同上１次側電源工事			○				
○	同上２次側電源工事			○				
○	空調設備自立電源盤から室内機、その他負荷への配線			○				
○	既設室外機の脱着			○				
	カーテン・暗幕の更新							
○	フェンス、防音パネル	○						
○	舗装工事	○		○				
	側溝							
	車止め							
	外部倉庫							
	点字ブロック							
	既存樹木撤去							

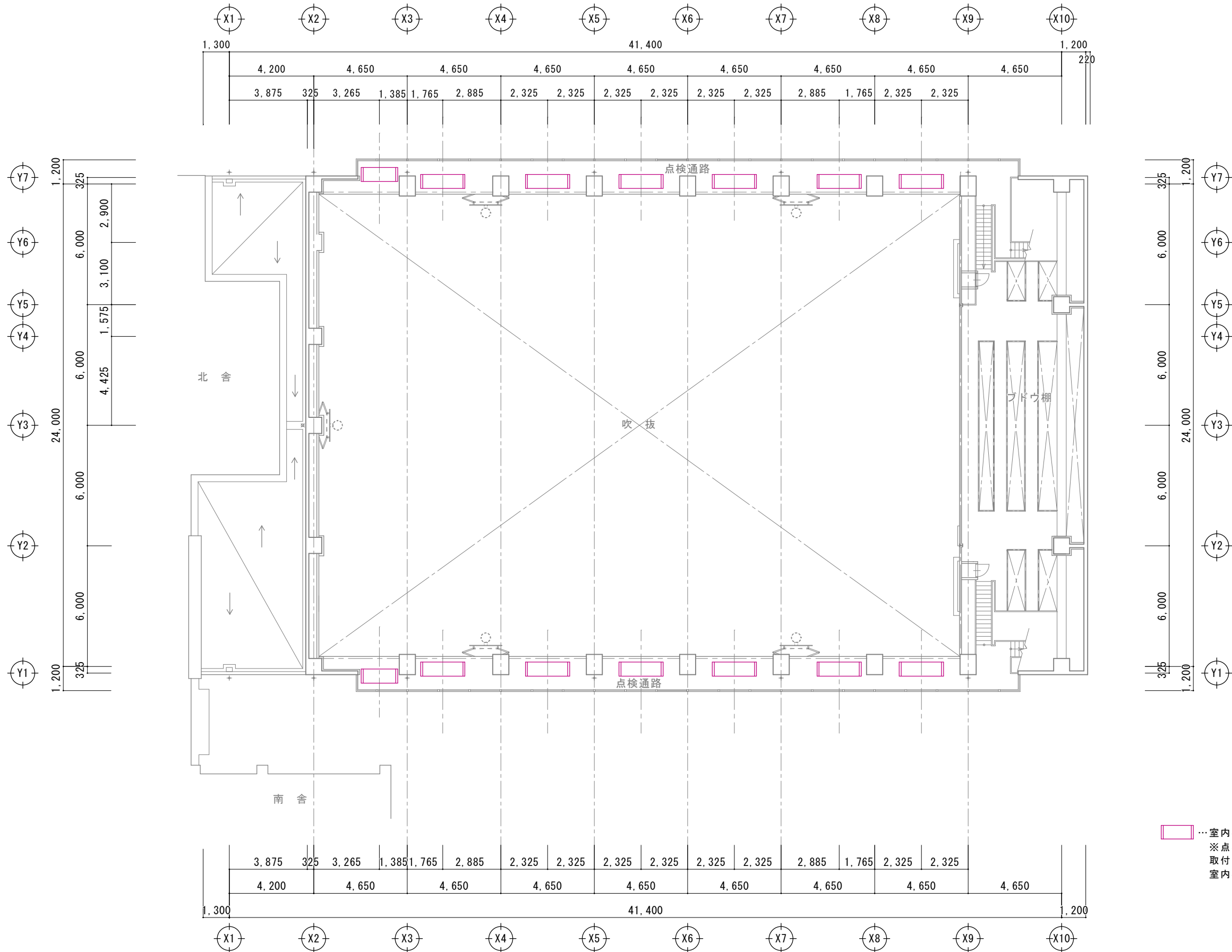
※電気工事は空調工事に含む



- | | | | | |
|---|--------|--|---------------------|--------------|
| 設計監理
大垣市都市計画部建築課
ARCHITECTURE DIVISION OKAZAKI CITY HALL | 設計年度 | 工事名称
北小学校ほか 1 校 屋内運動場空調機設置（建築）工事 | 図名
（北小）配置図兼仮設計画図 | 図番
3 / 28 |
| | 令和 7 年 | | | |

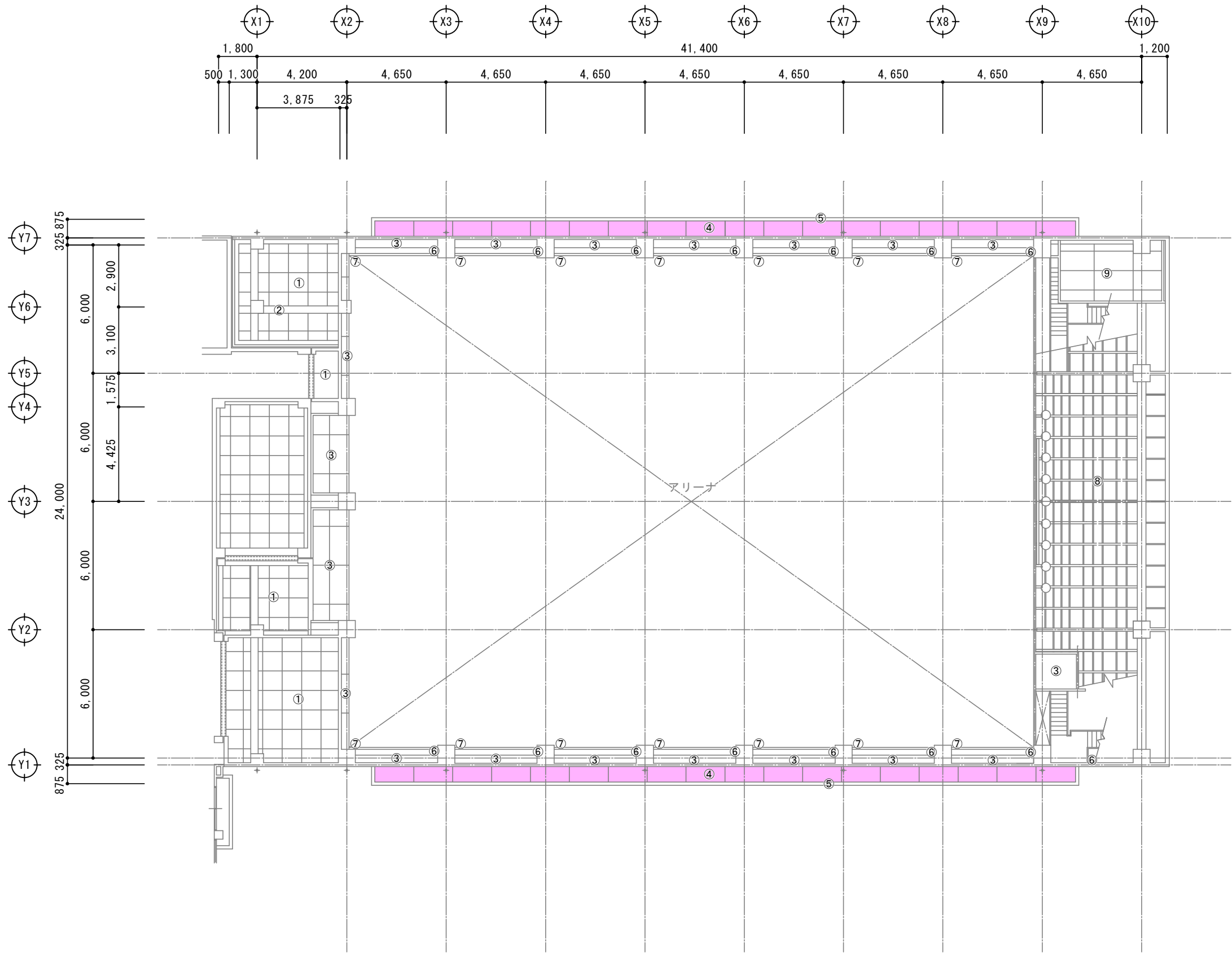


2 階平面図 S=1/200



…室内機用架台設置（本工事）14台
※点検通路上に設置
取付架台は詳細図（図番9、10）参照
室内機本体設置（空調工事）

点検用通路平面図 S=1/200



凡 例 （ 既 設 ）	
①	化粧ﾌﾟﾗｽﾀｰﾎｰﾄﾞ t=9.0 塩ﾋﾞ廻り縁
②	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し EP
③	有孔ｼﾅ合板 t=9.0 目透かし
④	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t=6.0 目透かし AE
⑤	化粧型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 目地切 ｱｸﾘﾙｼﾝ吹付
⑥	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し EP-1
⑦	ﾓﾙﾀﾙ AE
⑧	鉄骨 ﾌﾞﾛｯｸ柵 表し 鉄部 SOP
⑨	ｼﾅ合板 t=6.0 目透かし OSCL

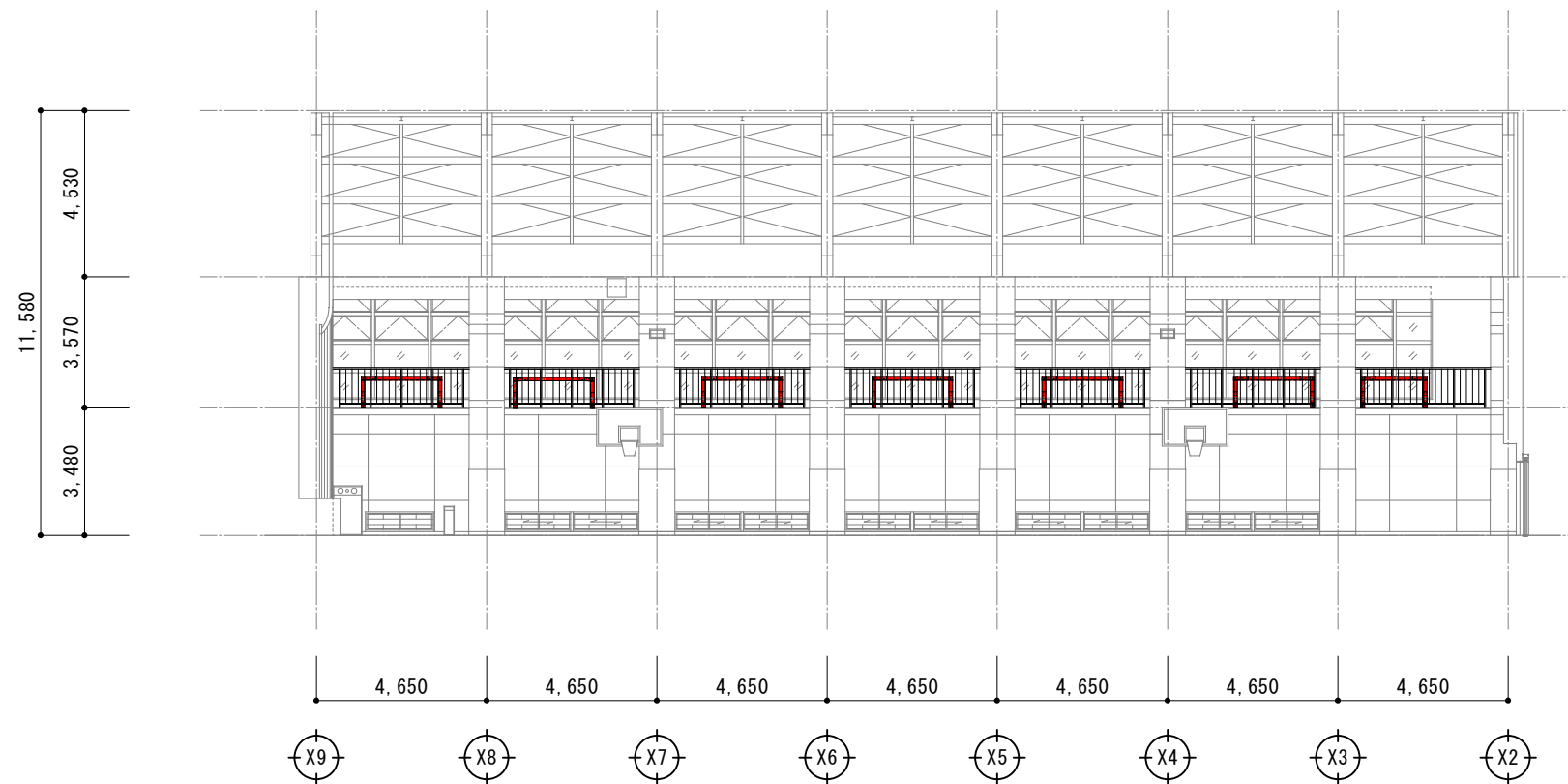
: ｱｽﾍﾞﾙﾄ含有材 (下地調整材)

: 既設ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板撤去 (天井LGS、塩ﾋﾞ廻り縁共)
天井LGS、塩ﾋﾞ廻り縁新設
ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t=6.0 AE 新設
※軒天仕上の撤去・復旧に係る足場の設置は、
空調工事とする
※本工事にて解体する範囲にｱｽﾍﾞﾙﾄ含有材は無し


2 階天井部図 S=1 : 150

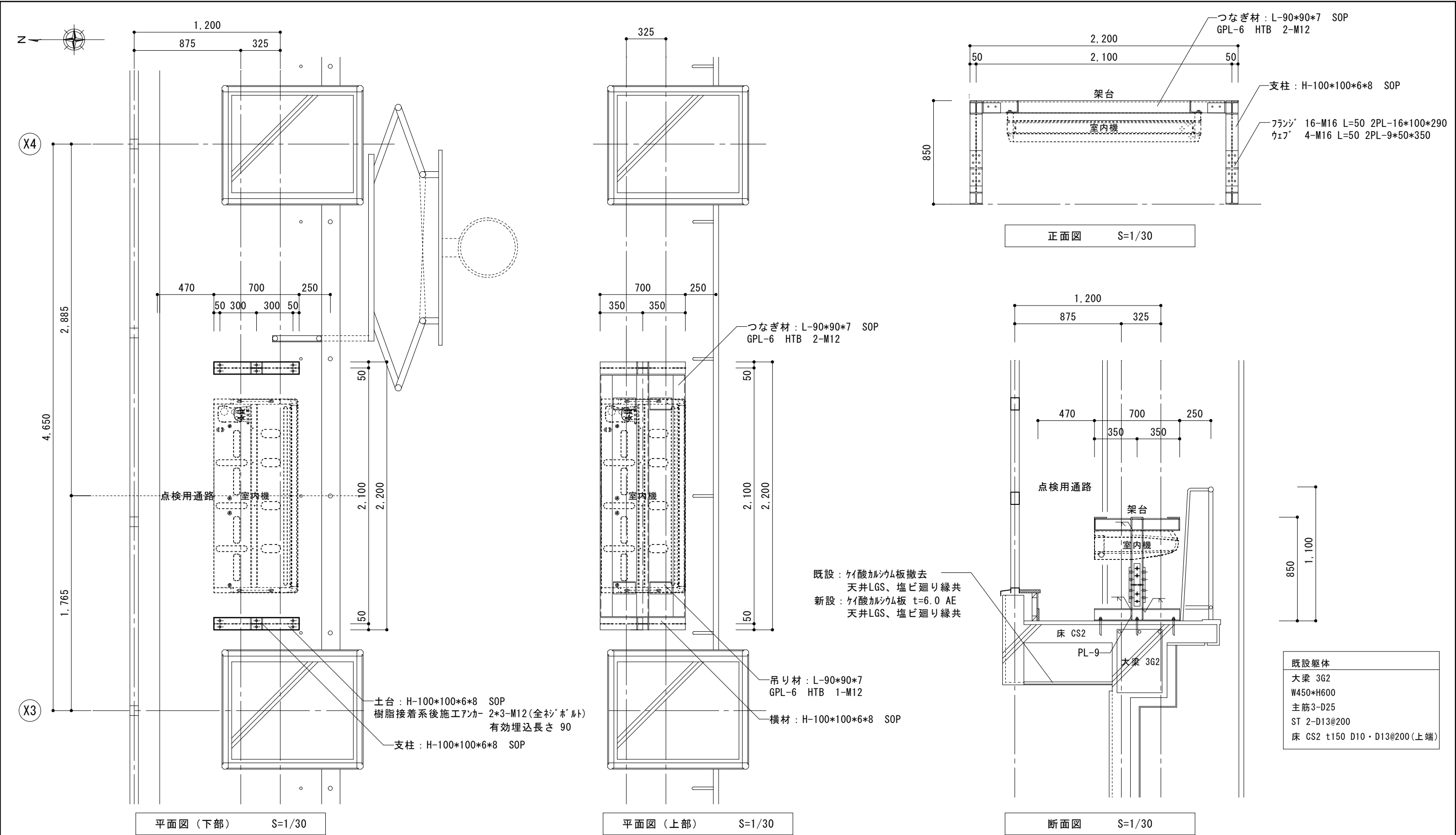


アリーナ展開図（北面） S=1：200

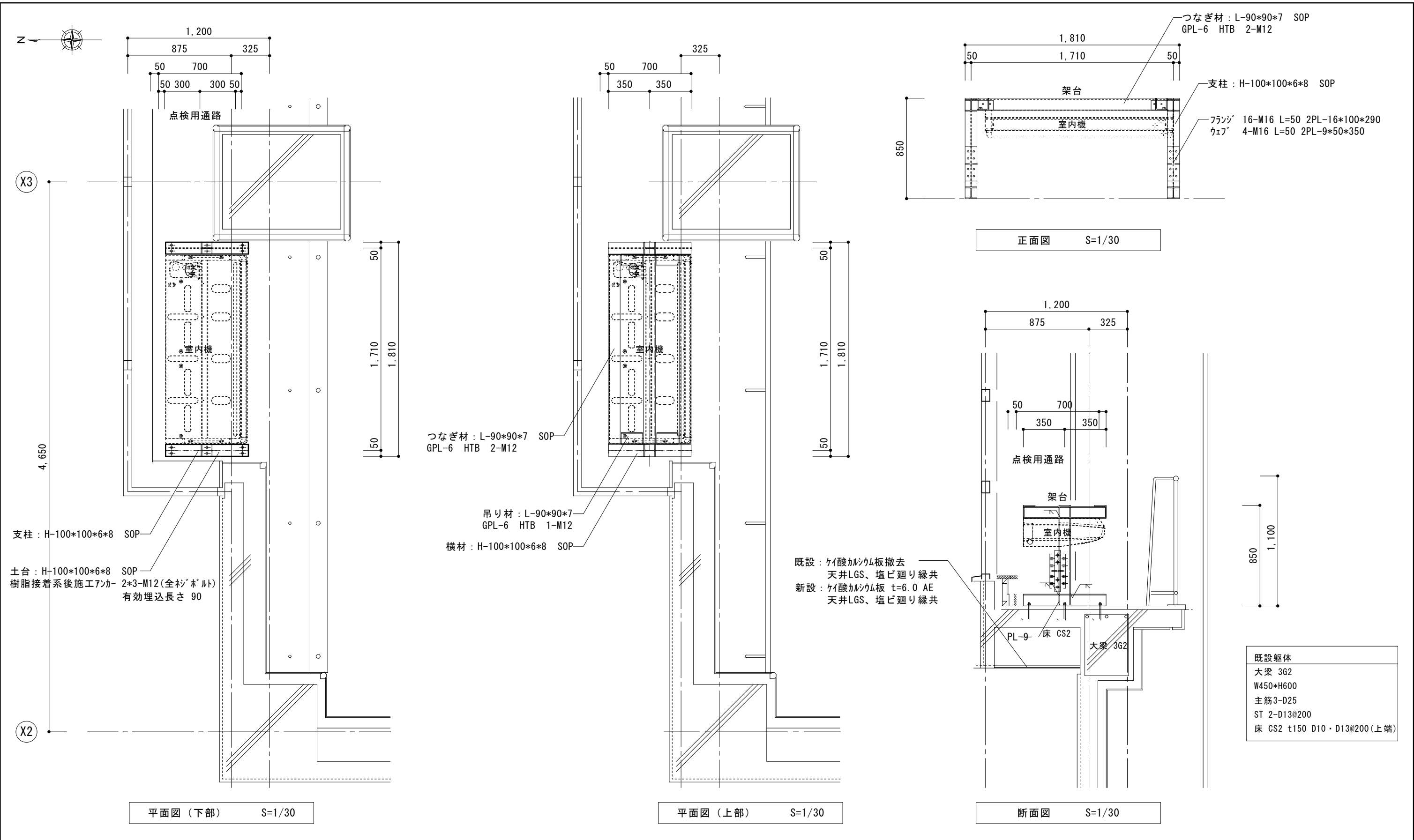


アリーナ展開図（南面） S=1：200

 : 室内機用架台 単独架台12台 W2200×D700×H850
 (点検用通路の手摺内側に設置)
 X2-X3通り 単独架台2台 W1810×D700×H850
 ※上記空調機本体は空調工事にて取付



鋼材	SS400		※架台台数 単独架台 12台
HTB	S10T		※室内機本体設置は別途空調工事
樹脂接着系後施工アンカー	JCAA認証製品とする 穴明け前に既設躯体の鉄筋探査を行い鉄筋を切断しないこと		※室内機取付位置については、空調工事業者との打ち合わせによる
アンカー筋	鍍金製全ネジボルト SS400		
塗装	鉄部 SOP		
設計監理 大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OKAZAKI CITY HALL		設計年度 令和7年	工事名称 北小学校ほか1校 屋内運動場空調機設置（建築）工事
		図名 （北小）架台詳細図 1	図番 9 / 28

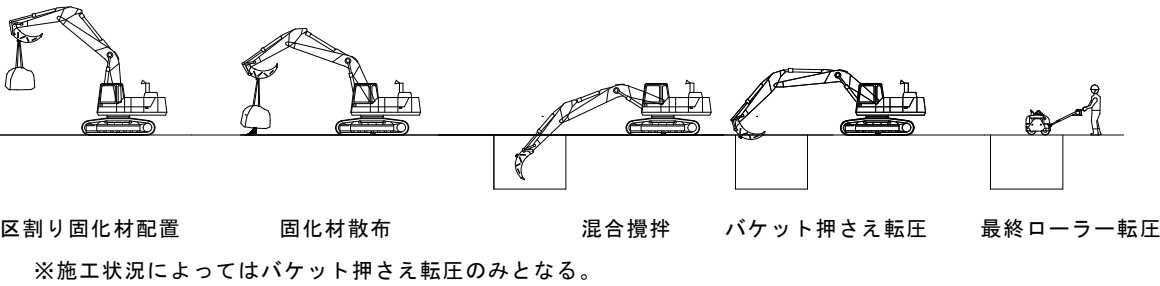


鋼材	SS400			※架台台数 単独架台 12台	
HTB	S10T			※室内機本体設置は別途空調工事	
樹脂接着系後施工アンカー	JCAA認証製品とする			※室内機取付位置については、空調工事業者との打ち合わせによる	
	穴明け前に既設躯体の鉄筋探査を行い鉄筋を切断しないこと				
アンカー筋	鍍金製全ネジボルト SS400				
塗装	鉄部 SOP				
設計監理		設計年度	工事名称	図名	図番
大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OKAZAKI CITY HALL		令和 7 年	北小学校ほか 1 校 屋内運動場空調機設置（建築）工事	（北小）架台詳細図 2	10 / 28

表層改良工法特記仕様書

1 工事概要

本工法は現地盤土とセメント系固化材とをバックホウで混合し、所要の強度を有する改良体を造成する工法である。



2 一般事項

本工事は、本特記仕様書によるほか、「2018年版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」（（財）日本建築センター）による。

改良厚さ、土量、位置および固化材の配合等は、土質や地盤状況により変更することがある。

本工事に先立ち、施工計画書を提出し監督員の承認を得るものとする。施工計画書には次の事項を明記する。

- (1) 工事内容（改良厚さ、土量、位置、設計基準強度等）
- (2) 工程表
- (3) 施工方法（仕様固化材、配合量等）
- (4) 施工機械
- (5) 施工管理方法
- (6) 品質管理方法
- (7) 安全管理方法
- (8) 請負業者の本工事責任者名
- (9) 本工事施工業者名および施工責任者名

3 特記事項

- (1) 改良厚さ、位置等は設計図書による。
- (2) 改良体の設計基準強度：Fc=300kN/m2
- (3) 必ず事前に配合試験を行い配合量の妥当性を確認する。

4. 配合管理

- (1) 地盤改良に使用する固化材は、六価クロム溶出抑制タイプのセメント系固化材とする。
- (2) $F_c = (1 - m \cdot V) \cdot q_{uf}$ F_c : 設計基準強度 (kN/m²)
 $q_{uf} = F_c / (1 - m \cdot V)$ m : 相関係数=1.3
 $q_{ul} = q_{uf} / d_1$ V : 変動係数=0.45
 d_1 : 現場/室内強さ比(表-1)

表1 (現場/室内) 強さ比の一例

固化材の添加形式	改良対象土	攪拌方法	(現場/室内)強度比
粉体	軟弱土	スタビライザ	0.5～0.8
		バックホウ	0.3～0.7

$q_{ul} = \{300 / (1 - 1.3 \times 0.45)\} / 0.5 = 1450 \text{ kN/m}^2$

推定配合量 80kg/m3（最終的には配合試験により決定する）

5 施工機械

- (1) 施工機械本体は、改良厚さに見合った掘削、混合能力を有すること。

6 施工

- (1) 施工
改良対象地盤にマーキングしできあがった升目に改良材を散布する。
混合した改良土は、状況を見てできるだけ早期に転圧を行う。
改良土は、転圧完了後所定の強度を得るまで養生する。
施工に対して疑義が生じた場合は、直ちに監督員と協議し、その指示を受ける。
施工精度を満足しない場合は、監督員と協議しその指示を受け適切な処置をする。

7 施工管理

- 施工過程における管理方法は次の通りとする。
- (1) 固化材散布量
マーキングに基づき1tフレコンを所定面積内に均一に散布する。
 - (2) 改良厚さ
混合中に機械を止めて、改良厚さをスタッフ等により測定する。
 - (3) 混合程度
固化材と改良対象土の色むらがなくなるまで混合する。

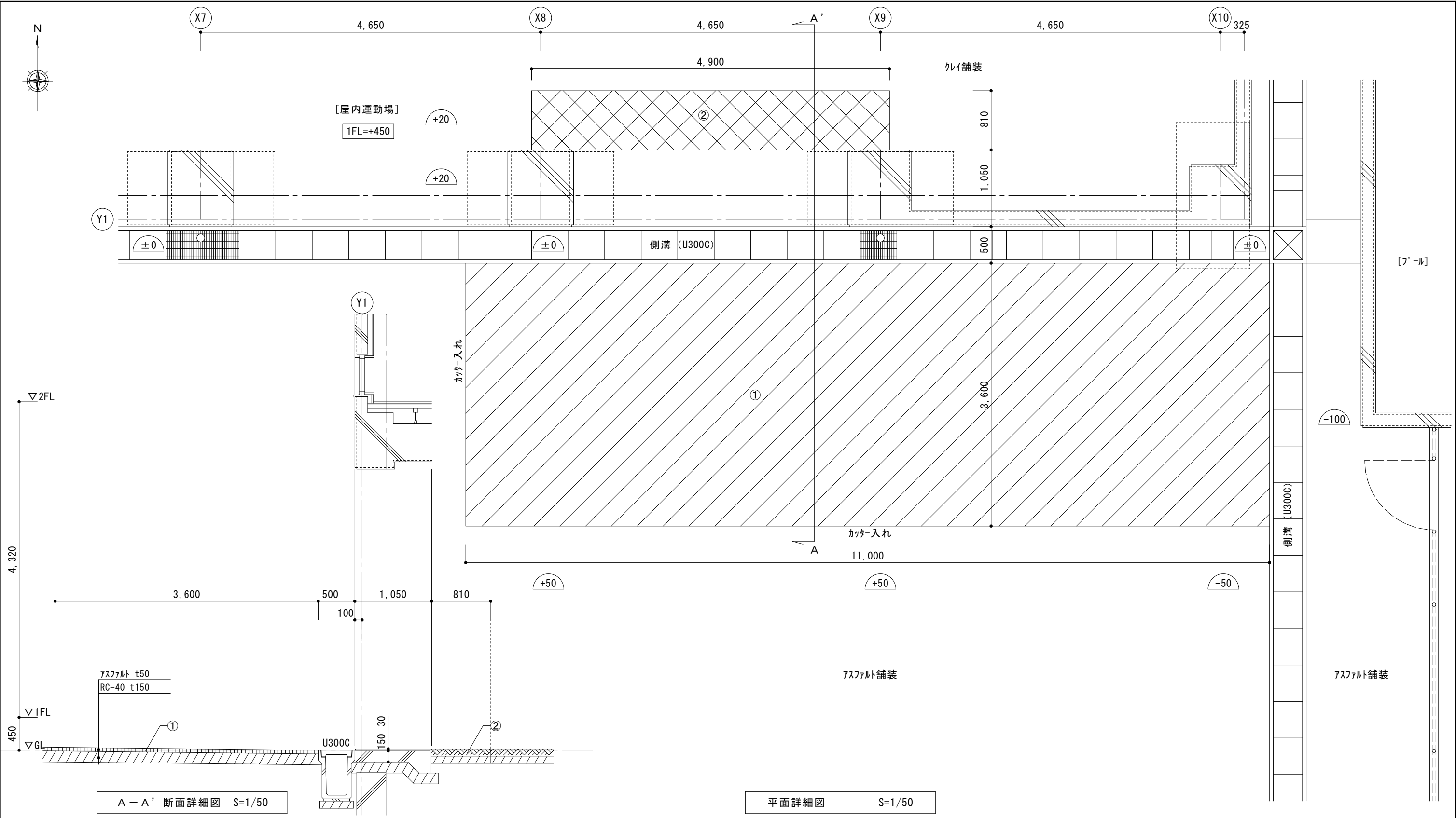
8 報告



- 工事完了後、次の事項について報告書をまとめて2部を監督員に提出する。
- (1) 施工日報（改良厚さ、位置、土量、配合量、固化材使用量等）
 - (2) 固化材散布量、改良厚さの状況写真
 - (3) 管理試験結果

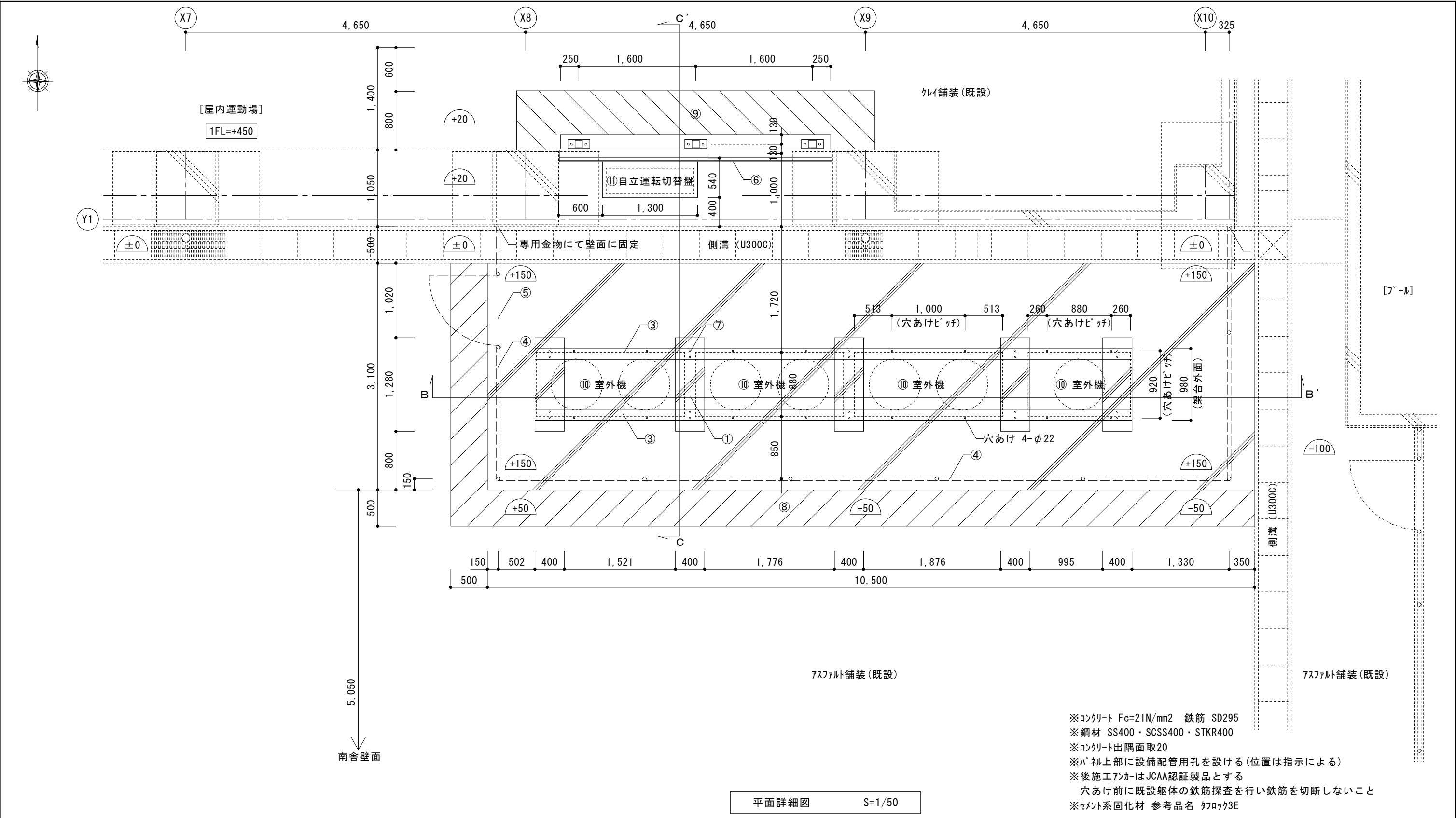
9 管理試験

- (1) 施工日報（改良厚さ、位置、土量、配合量、固化材使用量等）
 - 1) 現場採取供試体
3ヶ所から改良土を採取し、寸法φ5cm×10cmの供試体を 3個/箇所作成し、一軸圧縮試験を行う。
 - 2) 材令28日で各箇所の圧縮強度の平均値が設計基準強度を上回ること。
- (2) 固化材散布量、改良厚さの状況写真
配合計画段階で六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計画説明書）を提出する。
試験方法はセメント及びセメント系固化材を使用した改良土壌の六価クロム溶出試験（環境庁第46号（土壌汚染に係る環境基準）による。）
検査攪拌数、検査攪拌層、基準値は下記のものとする。

検体数	1検体
対象層	設計対象層 盛土層(粘性土)
基準値	0.05(mg/リットル)以下



凡 例																	
符号	記号	名称・仕様	処理	数量	単位	符号	記号	名称・仕様	処理	数量	単位	符号	記号	名称・仕様	処理	数量	単位
①		アスファルト舗装 t50、RC-40 t150	カッター切 撤去	39.6	m2												
②		混合土 t100	一部撤去(場内仮置)	3.9	m2												



凡 例														
符号	記号	改修内容	数量	単位	符号	記号	改修内容	数量	単位	符号	記号	改修内容	数量	単位
①		コンクリート基礎 ベ`タ基礎部 t350 鉄筋D10@200ｸﾛｽﾀﾞﾌﾞﾙ	32.5	m2	⑥		壁 角波鉄板(ｶｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.5) 透湿防水ｼｰﾄ 耐火ﾎｰﾄﾞ(木毛セメント板t25 +ﾌｴﾉｰﾙﾌｵｰﾑ断熱材t20) 水切(ｶｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.5) 下部 見切縁(ｶｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.5) 三方既設取合部 下地鉄部 錆止 DP塗	3.8	m	⑨		混合土復旧 t100 + RC-40 t100	3.2	m2
		梁型部 1280*400 上下主筋 3-D13 ST D10@200	6	ヶ所						⑩		室外機 (別途空調工事)	4	台
③		室外機架台 H-150*150*7*10 溶融亜鉛鍍金 AB穴あけ 室外機固定穴あけ	2	ヶ所						⑪		自立運転切替盤 (別途空調工事)	1	台
④		メッシュフェンス H1800 埋込300 (参考品名 朝日ｽﾃｰﾙ工業(株) ﾋﾞﾆﾌｴﾝｽ)	16.9	m	⑦		AB-M16 亜鉛鍍金製 有効埋込長さ L=250 DN 樹脂ｷｬｯﾌﾟ	20	ヶ所					
⑤		片開きフェンス扉 W1000 回転施錠＋南京錠	1	ヶ所	⑧		ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装復旧 t50 (密粒度ｱｽｺﾝA-5-15)、RC-40 t150	7.1	m2	③の位置については、空調工事業者との協議による				
設計監理		大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL			設計年度	工事名称 北小学校ほか1校 屋内運動場空調機設置 (建築) 工事			図名 (北小) 室外機周り平面詳細図 (改修後)			図番 13 / 28		
					令和7年									

ネットフェンス部 詳細図 S=1:40

2,000 2,000

φ50.8×2.3

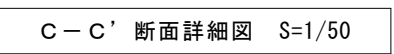
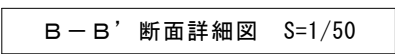
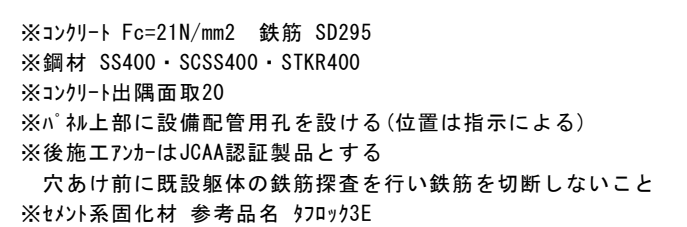
ワイヤメッシュ
(ハイテンション線)

∇GL+150 (室外機べた基礎上部)

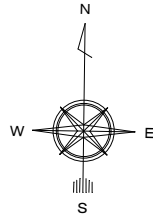
埋め込み: 300以上

1,770
1,800
300

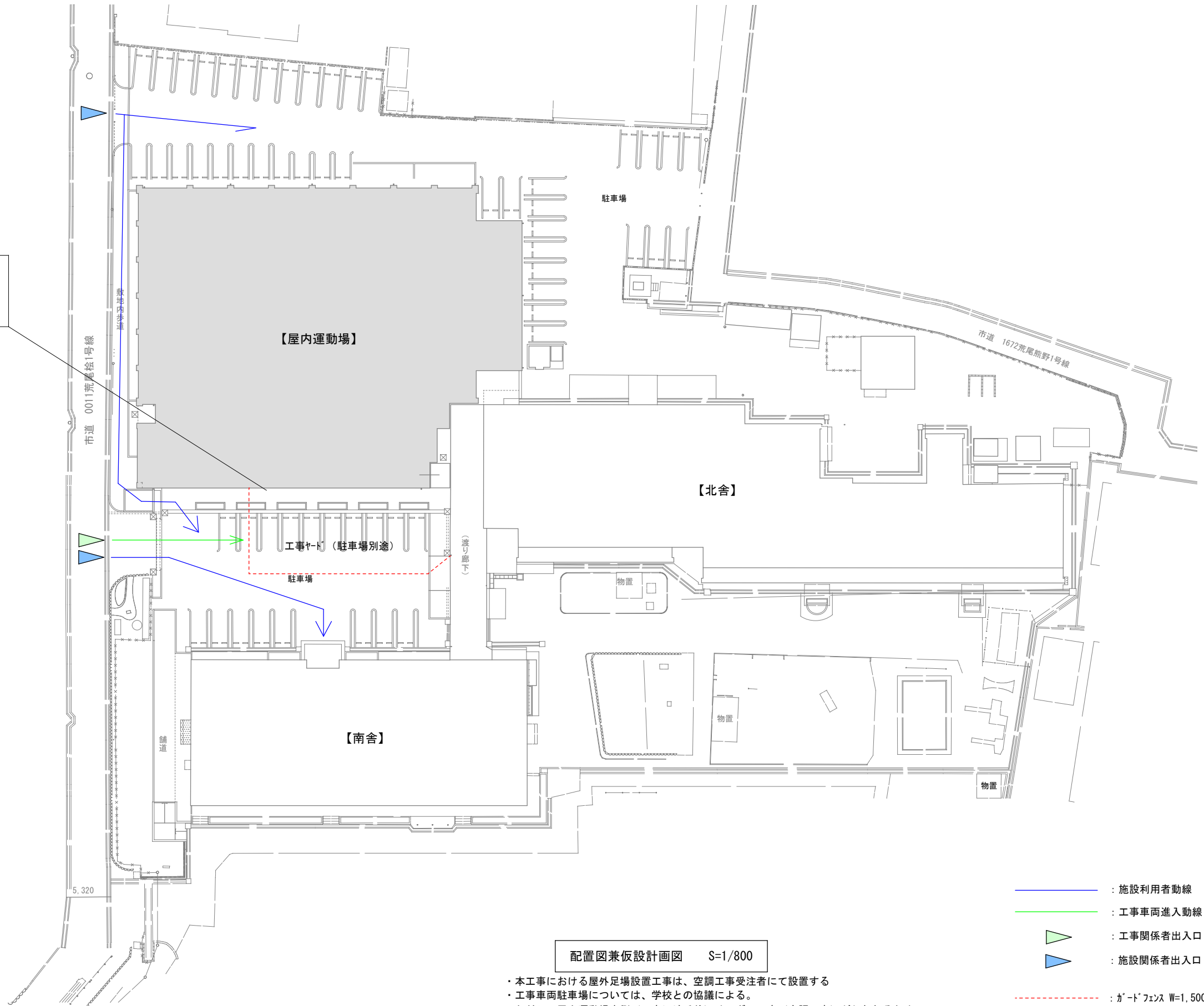
※朝日UNフェンス H1,800 同等品

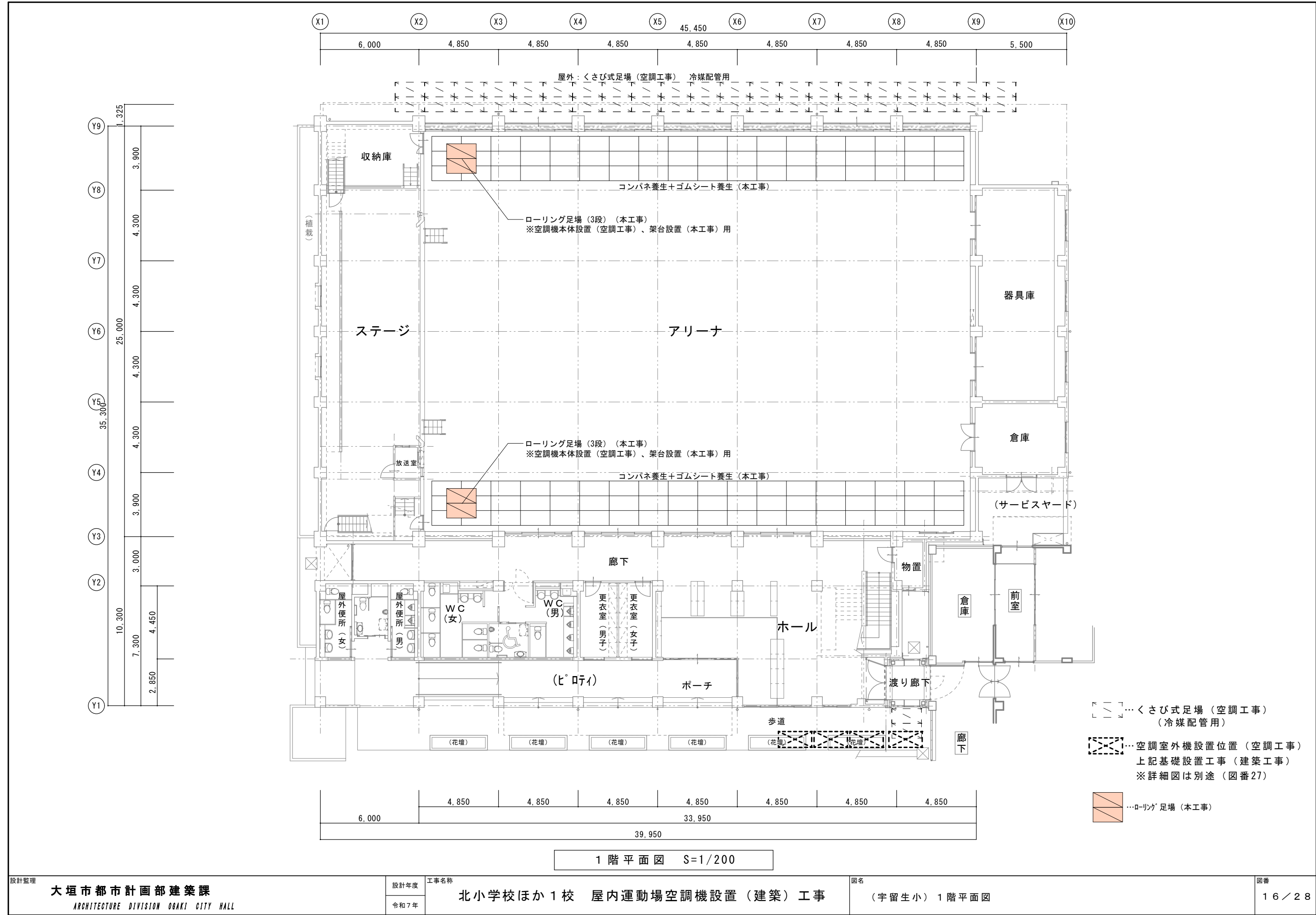


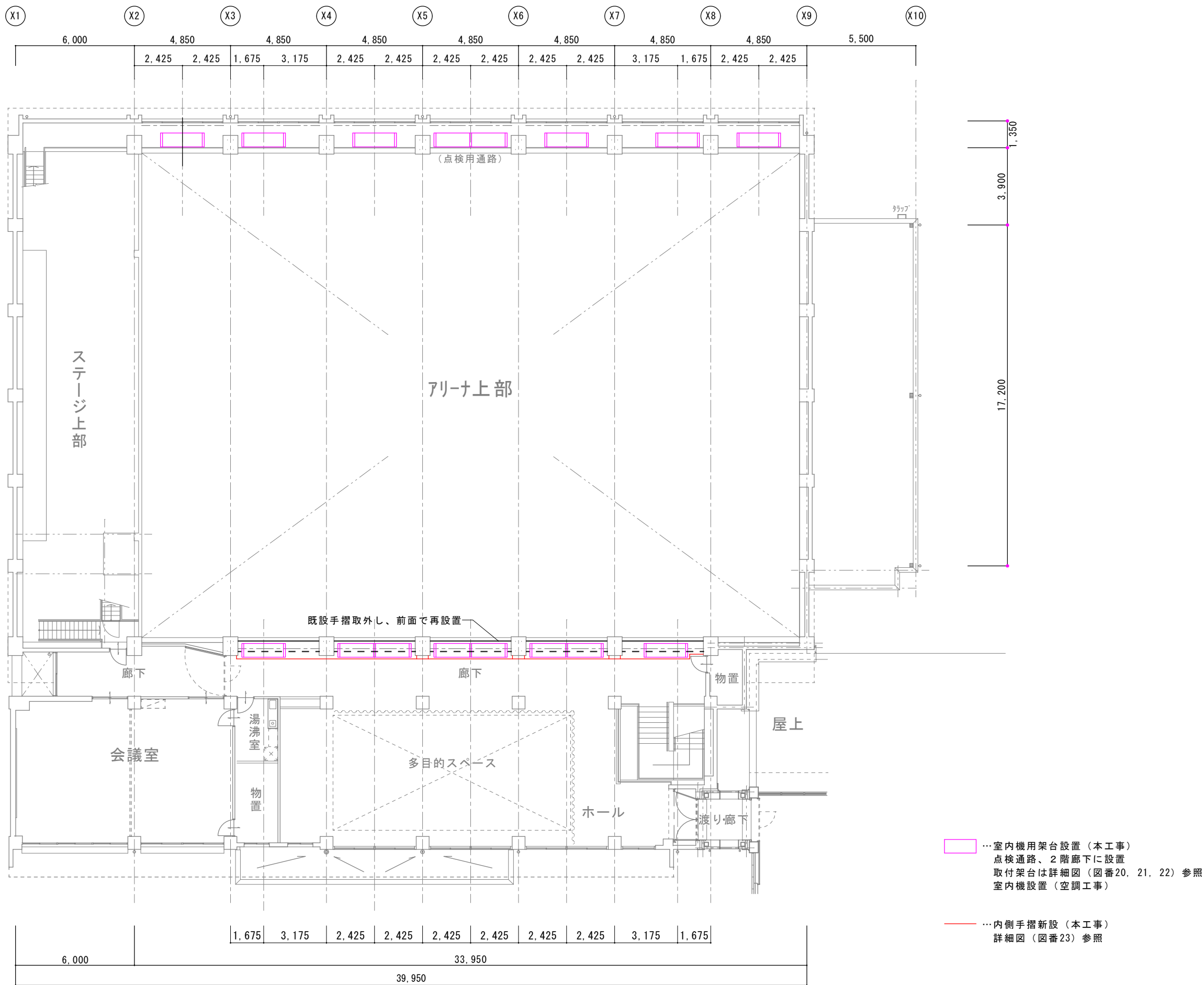
凡 例														
符号	記号	改修内容	数量	単位	符号	記号	改修内容	数量	単位	符号	記号	改修内容	数量	単位
①		コンクリート基礎 へ 基礎部 t350 鉄筋D10@200クロス・フル	32.5	m2	⑥		壁 角波鉄板(カーガ・ルバ・リウム鋼板t0.5) 透湿防水シート 耐火ボ ード (木毛セメント板t25 +フェノールフォーム断熱材t20) 水切(カーガ・ルバ・リウム鋼板t0.5) 下部 見切縁(カーガ・ルバ・リウム鋼板t0.5) 三方既設取合部 下地鉄部 錆止 DP塗	3.8	m	⑨		混合土復旧 t100 + RC-40 t100	3.2	m2
		梁型部 1280*400 上下主筋 3-D13 ST D10@200	6	ヶ所						⑩		室外機 (別途空調工事)	4	台
③		室外機架台 H-150*150*7*10 溶融亜鉛鍍金 AB穴あけ 室外機固定穴あけ	2	ヶ所						⑪		自立運転切替盤 (別途空調工事)	1	台
④		メッシュフェンス H1800 埋込300 (参考品名 朝日スチール工業(株) ユニフェンス)	16.9	m	⑦		AB-M16 亜鉛鍍金製 有効埋込長さ L=250 DN 樹脂キャップ	20	ヶ所					
⑤		片開きフェンス扉 W1000 回転施錠+南京錠	1	ヶ所	⑧		アスファルト舗装復旧 t50 (密粒度アスコンA-5-15)、RC-40 t150	7.1	m2	③の位置については、空調工事業者との協議による				
設計監理		工事名称		図名		図番								
大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL		設計年度 令和 7 年		北小学校ほか 1 校 屋内運動場空調機設置 (建築) 工事		(北小) 室外機周り断面詳細図 (改修後)		1 4 / 2 8						

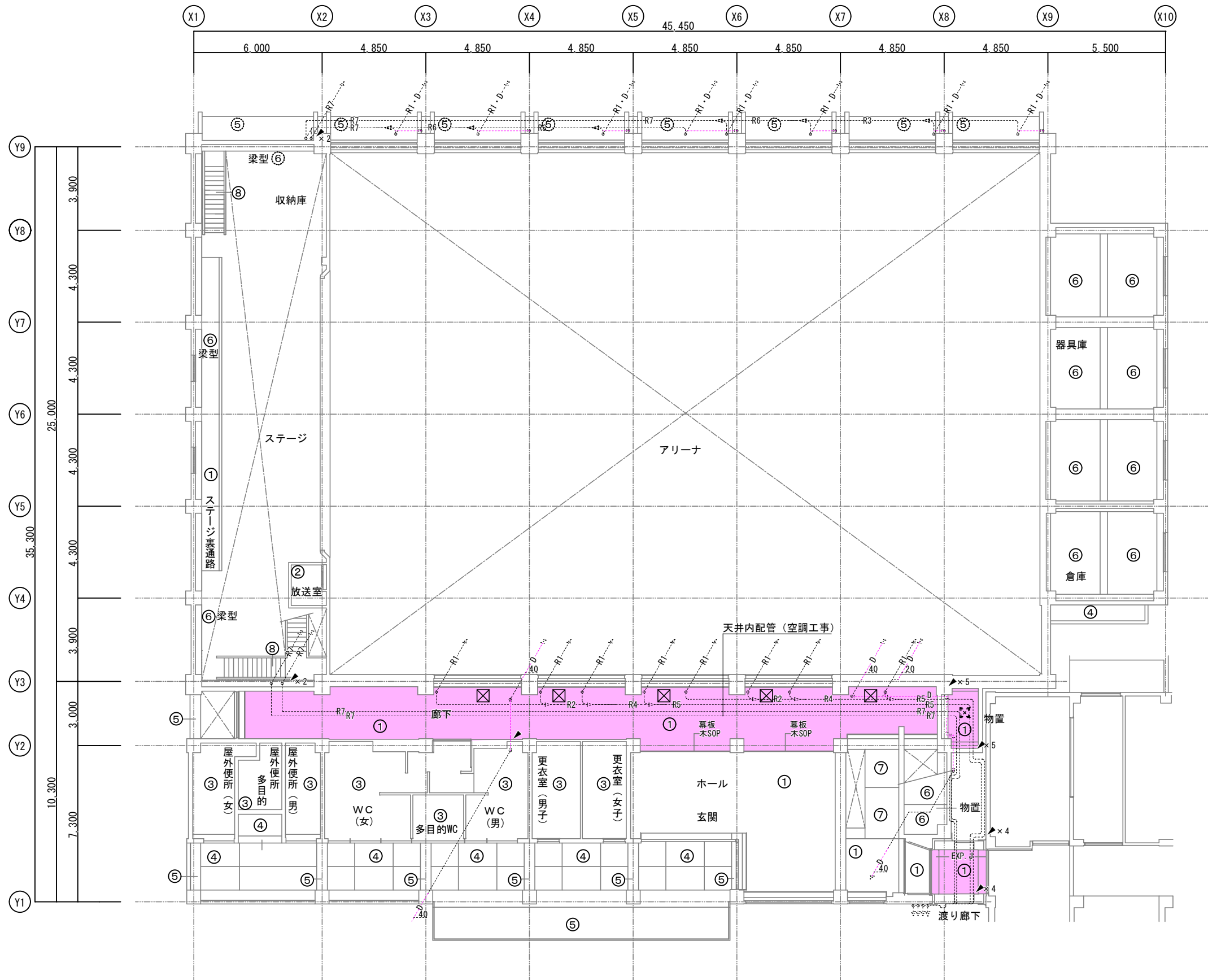


詳細図（図番27）参照
室外機基礎設置工事
防音パネル設置工事
側溝整備工事
歩道整備工事











凡 例 （ 既 設 ）	
①	化粧石膏ボード t=9.5
②	遮音シート下地 化粧石膏ボード t=9.5
③	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP
④	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP-G
⑤	化粧型枠コンクリート打放し 複層仕上塗材RE
⑥	化粧型枠コンクリート打放し EP-G
⑦	化粧型枠コンクリート打放し 複層仕上塗材E
⑧	鉄部 SOP

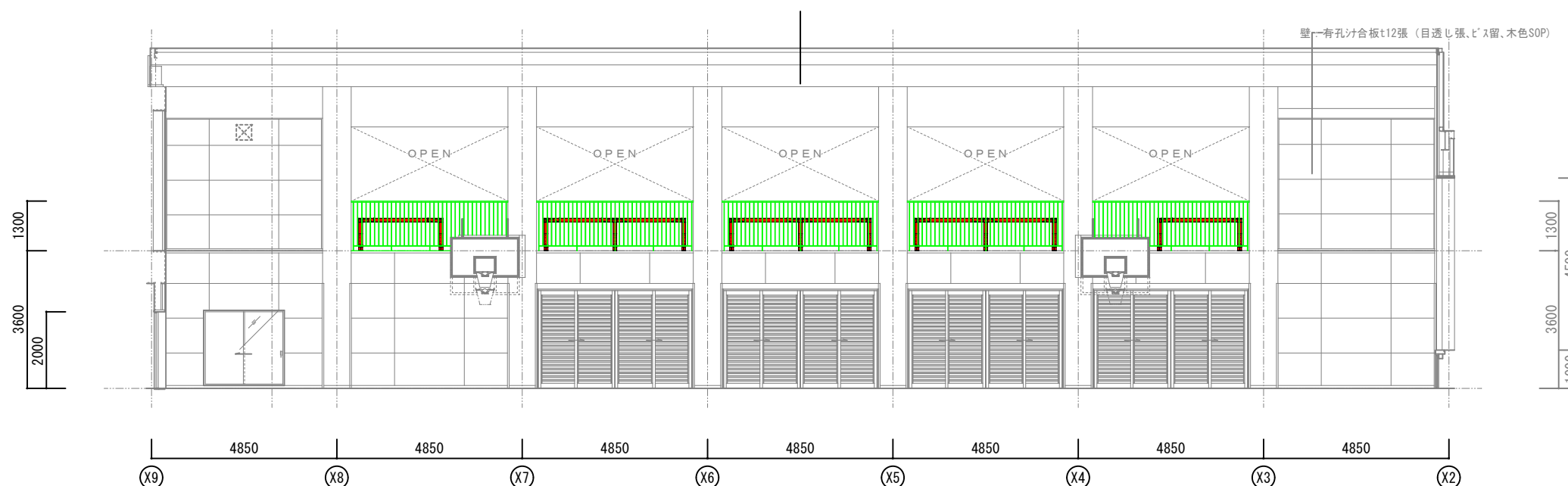
- : 既設化粧石膏ボードt=9.5 撤去 (天井LGS、塩ビ廻り縁共)
天井LGS、塩ビ廻り縁新設
化粧石膏ボード t=9.5 新設
天井仕上撤去部の床養生及び脚立足場は本工事とする
※冷媒配管及びバルブ配管敷設時に空調工事で脚立足場を使用する
- ☒ : 既設天井点検口 脱着 1箇所
☒ : 新設天井点検口 450×450 5箇所
- ▲ : コア浮き (空調工事)
----- : 天井内冷媒配管 (空調工事)

1 階天井部図 S=1 : 150




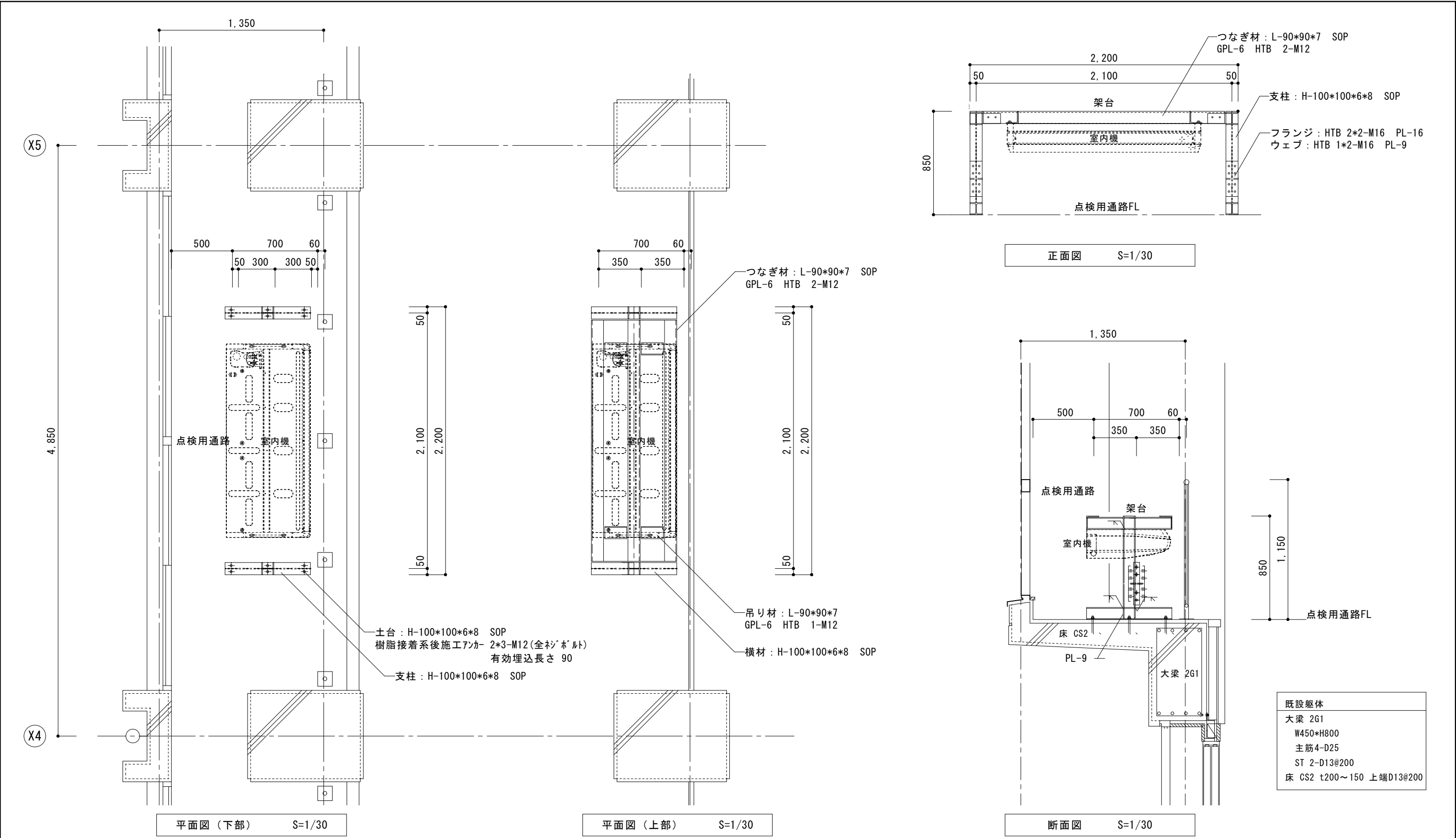
アリーナ展開図（北面） S=1 : 150

-  : 室内機用架台 単独架台8台 W2200×D700×H850
(点検用通路又は2階廊下の手摺内側に設置)
-  : 室内機用架台 2連架台4台 W3700×D700×H850
(点検用通路又は2階廊下の手摺内側に設置)
- 上記架台の設置についての詳細は、空調業者との協議による

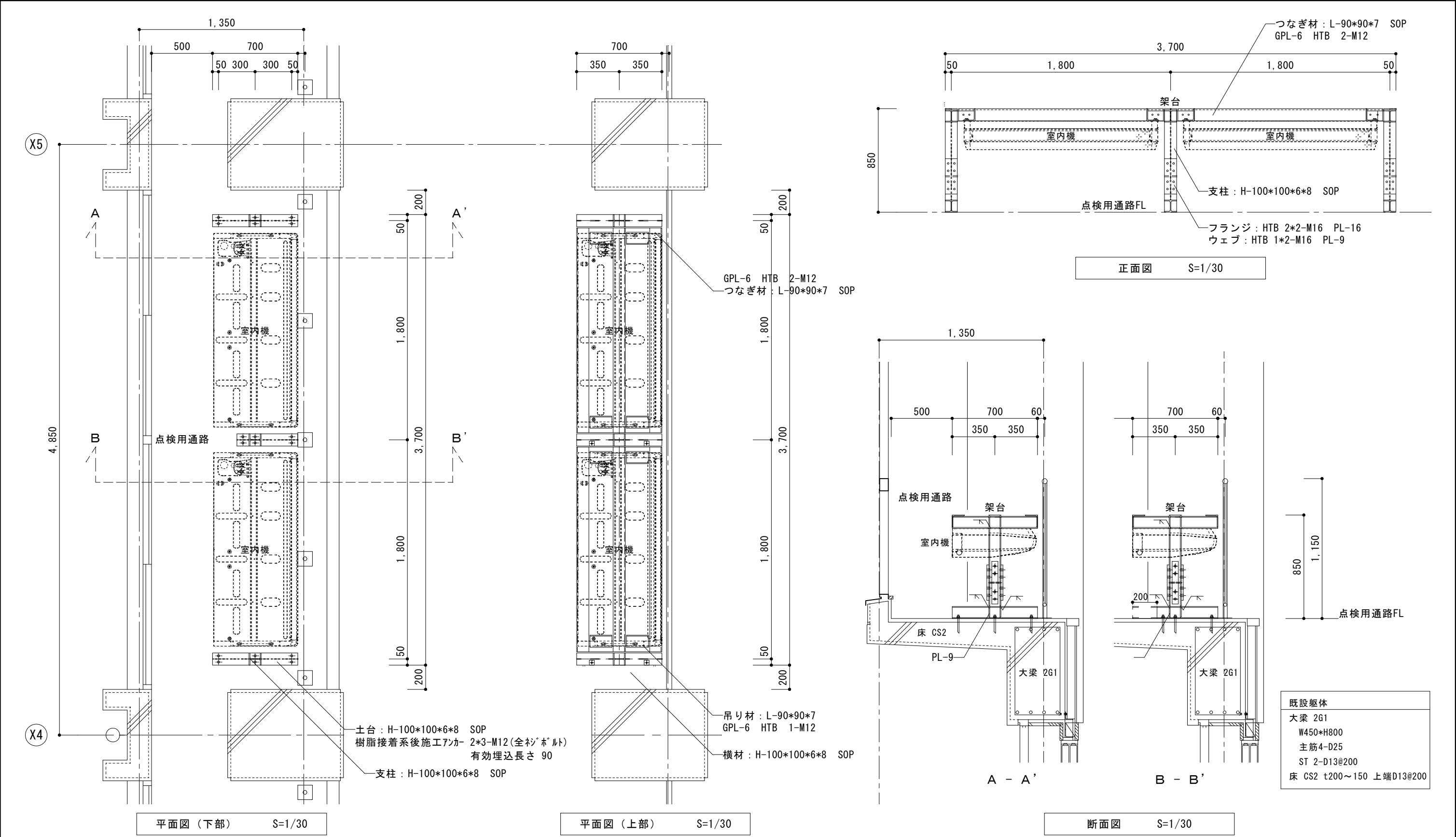


アリーナ展開図（南面） S=1 : 150

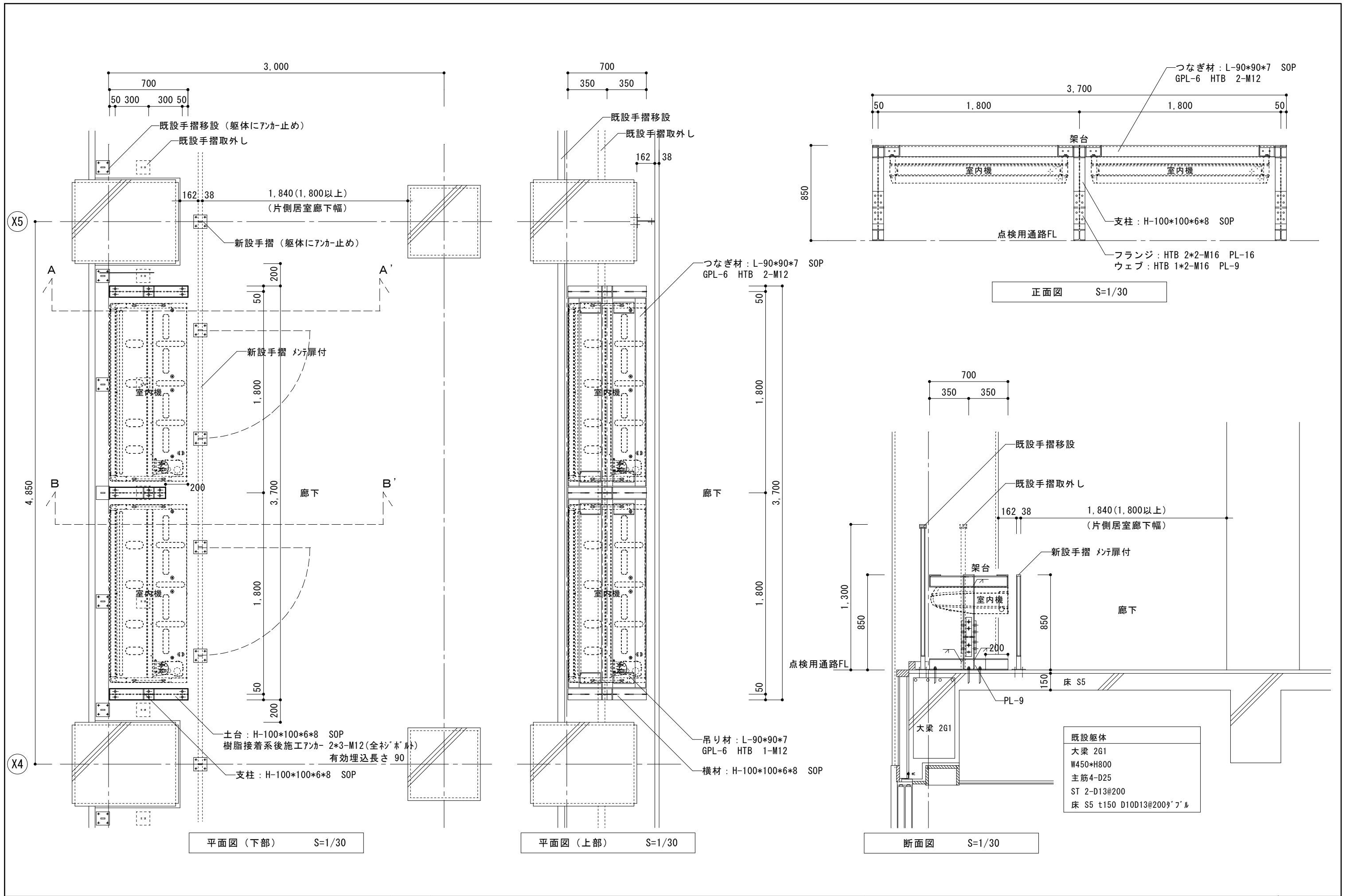
-  : 南側転落防止手摺 取外し
室内機架台設置のため、北側（アリーナ側）へ
約350移動し、再設置（既存手摺再利用）
※移設後、床及び壁のコーナー切断後、シール補修

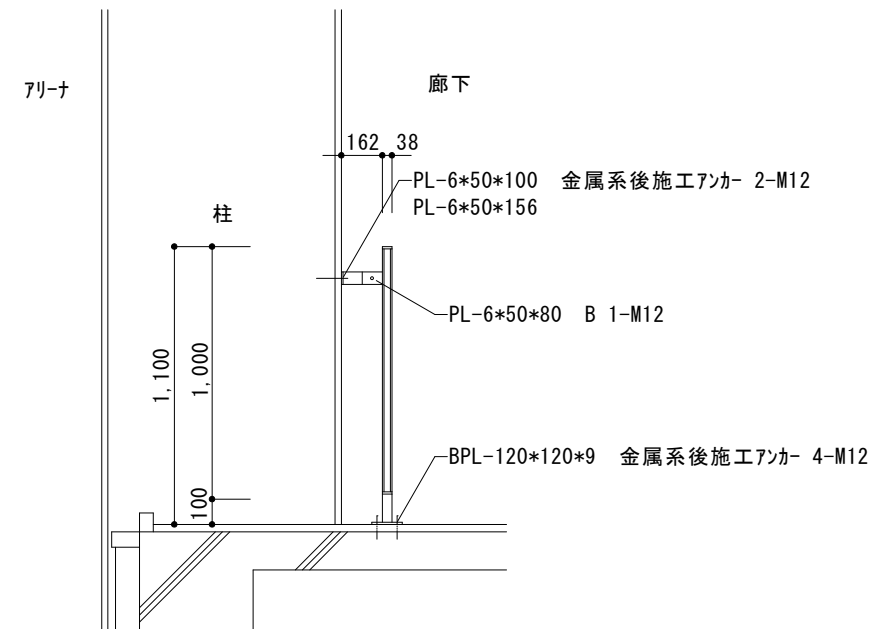
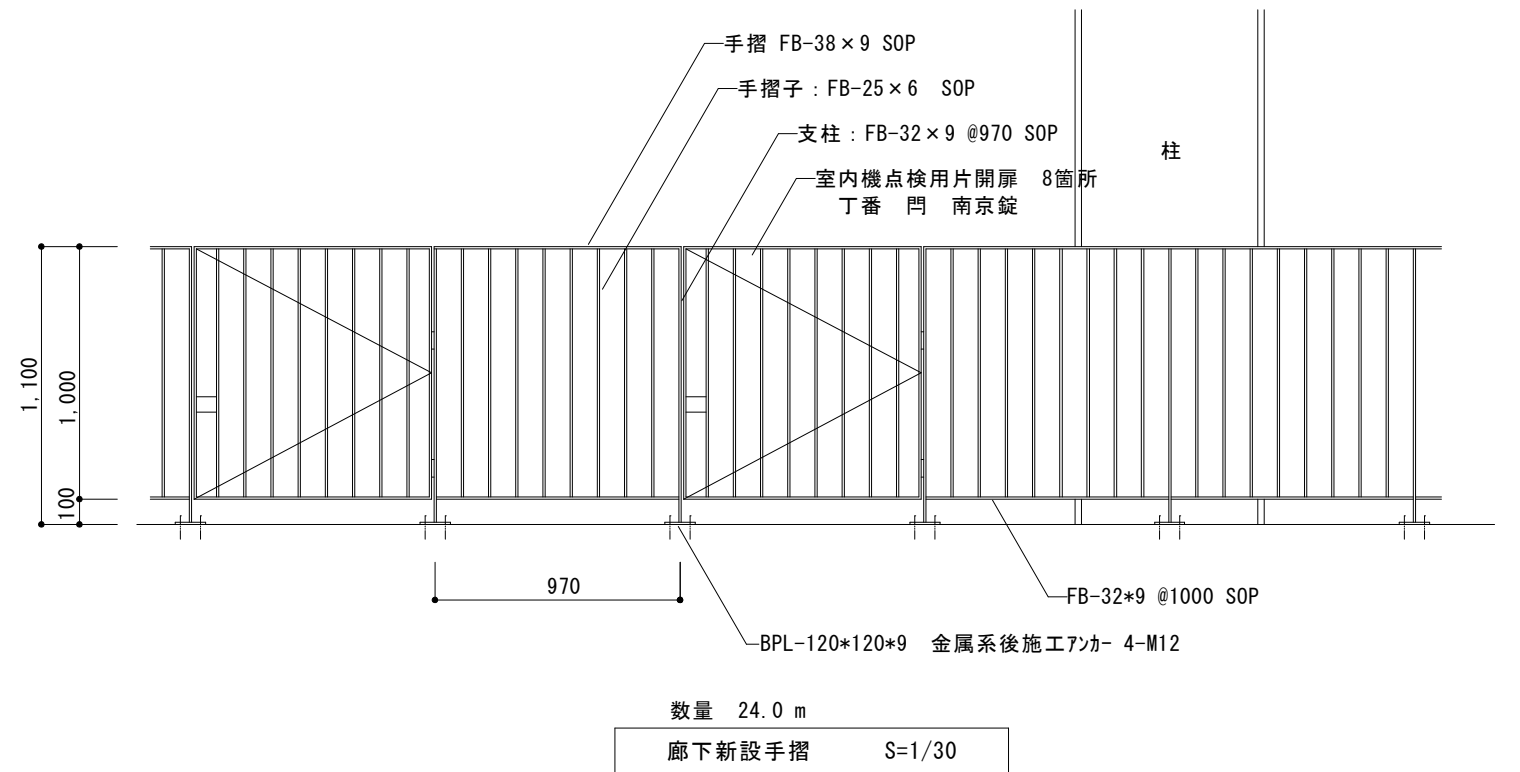
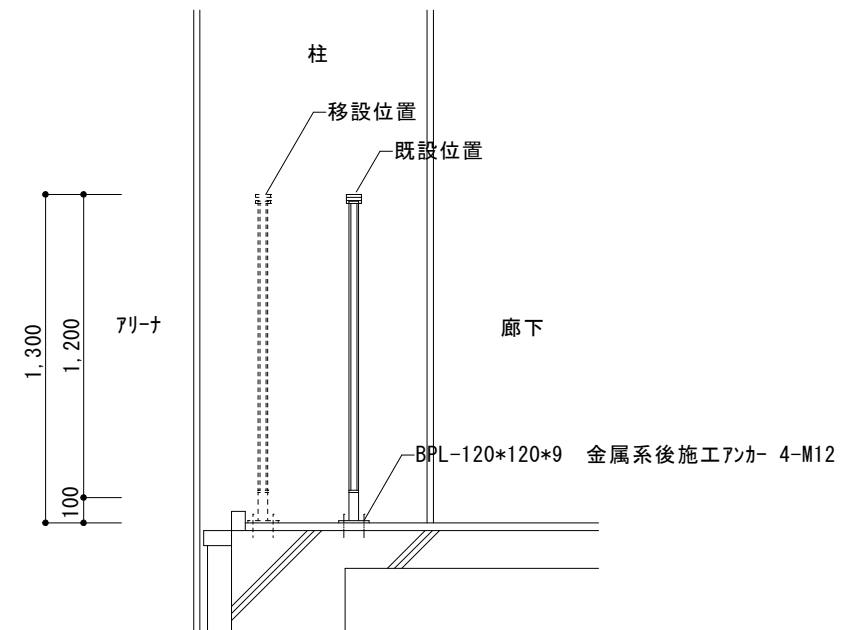
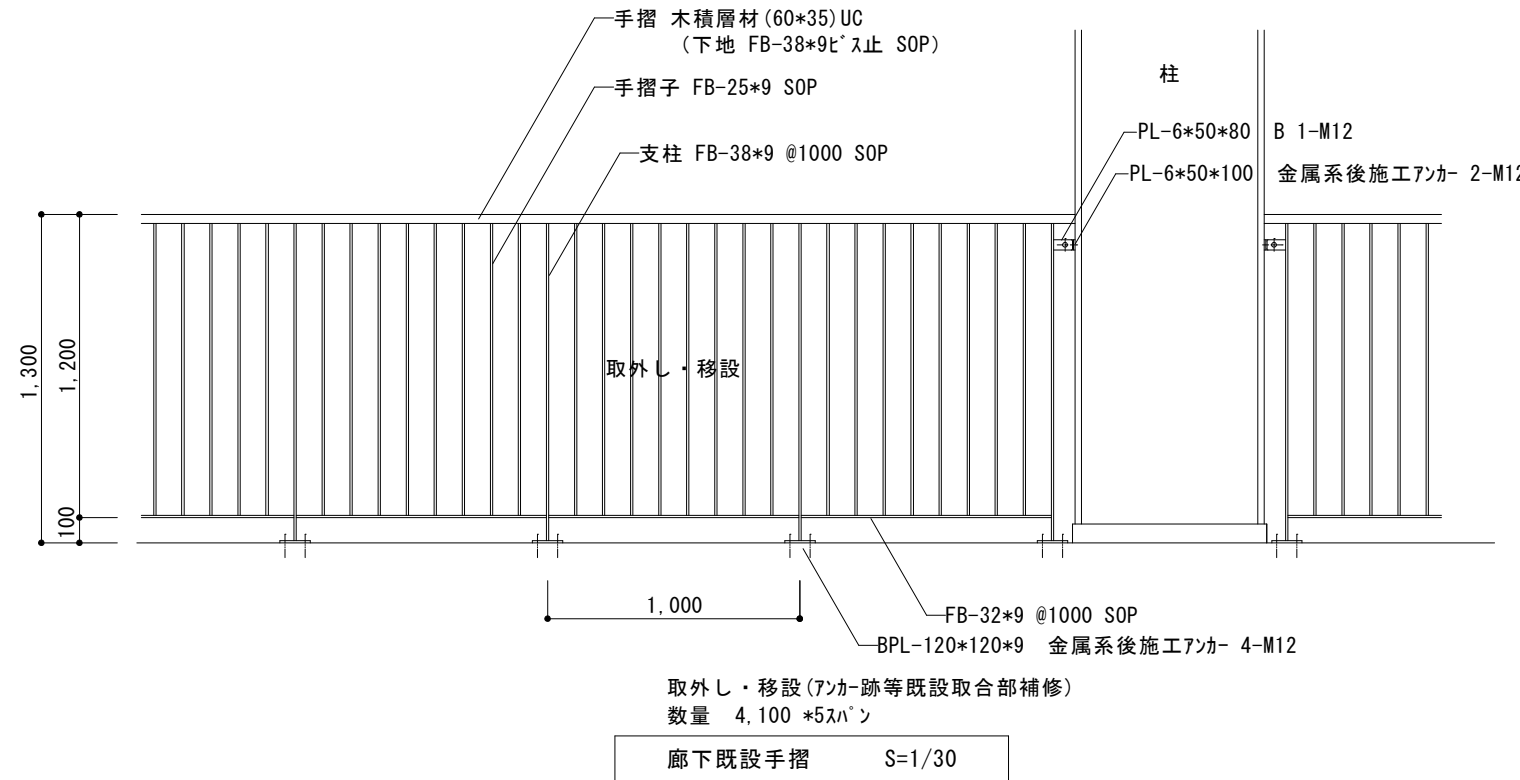


鋼材	SS400		※架台台数 単独架台 8台
HTB	S10T		※室内機本体設置は別途空調工事
樹脂接着系後施工アンカー	JCAA認証製品とする 穴明け前に既設躯体の鉄筋探査を行い鉄筋を切断しないこと		※室内機取付位置については、空調工事業者との打ち合わせによる
アンカー筋	鍍金製全ネジボルト SS400		
塗装	鉄部 SOP		
設計監理 大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL		設計年度 令和 7 年	工事名称 北小学校ほか 1 校 屋内運動場空調機設置（建築）工事
		図名 (宇留生小) 架台詳細図 1（北面）	図番 2 0 / 2 8



鋼材	SS400		※架台台数 単独架台 8台
HTB	S10T		※室内機本体設置は別途空調工事
樹脂接着系後施工アンカー	JCAA認証製品とする 穴明け前に既設躯体の鉄筋探査を行い鉄筋を切断しないこと		※室内機取付位置については、空調工事業者との打ち合わせによる
アンカー筋	鍍金製全ネジボルト SS400		
塗装	鉄部 SOP		
設計監理	大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL	設計年度 令和 7 年	工事名称 北小学校ほか 1 校 屋内運動場空調機設置（建築）工事
		図名 （宇留生小）架台詳細図 2（北面）	図番 2 1 / 2 8

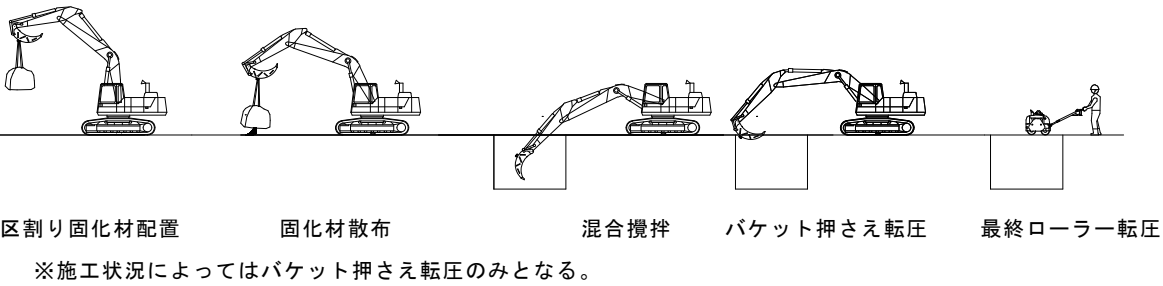




表層改良工法特記仕様書

1 工事概要

本工法は現地盤土とセメント系固化材とをバックホウで混合し、所要の強度を有する改良体を造成する工法である。



2 一般事項

本工事は、本特記仕様書によるほか、「2018年版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」（（財）日本建築センター）による。

改良厚さ、土量、位置および固化材の配合等は、土質や地盤状況により変更することがある。

本工事に先立ち、施工計画書を提出し監督員の承認を得るものとする。施工計画書には次の事項を明記する。

- (1) 工事内容（改良厚さ、土量、位置、設計基準強度等）
- (2) 工程表
- (3) 施工方法（仕様固化材、配合量等）
- (4) 施工機械
- (5) 施工管理方法
- (6) 品質管理方法
- (7) 安全管理方法
- (8) 請負業者の本工事責任者名
- (9) 本工事施工業者名および施工責任者名

3 特記事項

- (1) 改良厚さ、位置等は設計図書による。
- (2) 改良体の設計基準強度：Fc=300kN/m2
- (3) 必ず事前に配合試験を行い配合量の妥当性を確認する。

4. 配合管理

- (1) 地盤改良に使用する固化材は、六価クロム溶出抑制タイプのセメント系固化材とする。
- (2) $F_c = (1 - m \cdot V) \cdot q_{uf}$ F_c : 設計基準強度 (kN/m²)
 $q_{uf} = F_c / (1 - m \cdot V)$ m : 相関係数=1.3
 $q_{ul} = q_{uf} / d_1$ V : 変動係数=0.45
 d_1 : 現場/室内強さ比(表-1)

表1 (現場/室内) 強さ比の一例

固化材の添加形式	改良対象土	攪拌方法	(現場/室内)強度比
粉体	軟弱土	スタビライザ	0.5～0.8
		バックホウ	0.3～0.7

$q_{ul} = \{300 / (1 - 1.3 \times 0.45)\} / 0.5 = 1450 \text{ kN/m}^2$

推定配合量 80kg/m3（最終的には配合試験により決定する）

5 施工機械

- (1) 施工機械本体は、改良厚さに見合った掘削、混合能力を有すること。

6 施工

- (1) 施工
 - 改良対象地盤にマーキングしできあがった升目に改良材を散布する。
 - 混合した改良土は、状況を見てできるだけ早期に転圧を行う。
 - 改良土は、転圧完了後所定の強度を得るまで養生する。
 - 施工に対して疑義が生じた場合は、直ちに監督員と協議し、その指示を受ける。
 - 施工精度を満足しない場合は、監督員と協議しその指示を受け適切な処置をする。

7 施工管理

- 施工過程における管理方法は次の通りとする。
- (1) 固化材散布量
 - マーキングに基づき1tフレコンを所定面積内に均一に散布する。
 - (2) 改良厚さ
 - 混合中に機械を止めて、改良厚さをスタッフ等により測定する。
 - (3) 混合程度
 - 固化材と改良対象土の色むらがなくなるまで混合する。

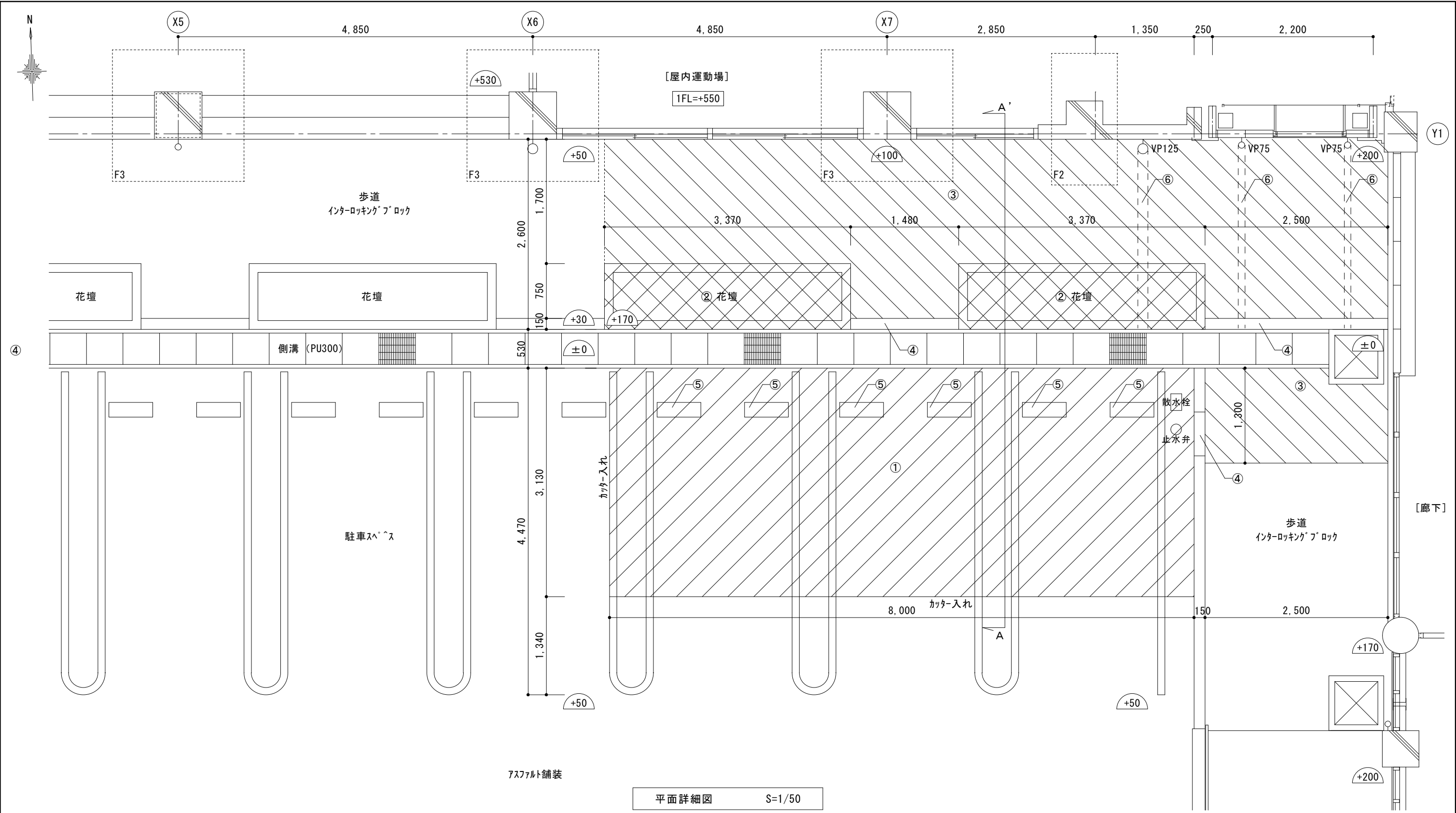
8 報告

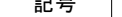
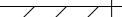

- 工事完了後、次の事項について報告書をまとめて2部を監督員に提出する。
- (1) 施工日報（改良厚さ、位置、土量、配合量、固化材使用量等）
 - (2) 固化材散布量、改良厚さの状況写真
 - (3) 管理試験結果

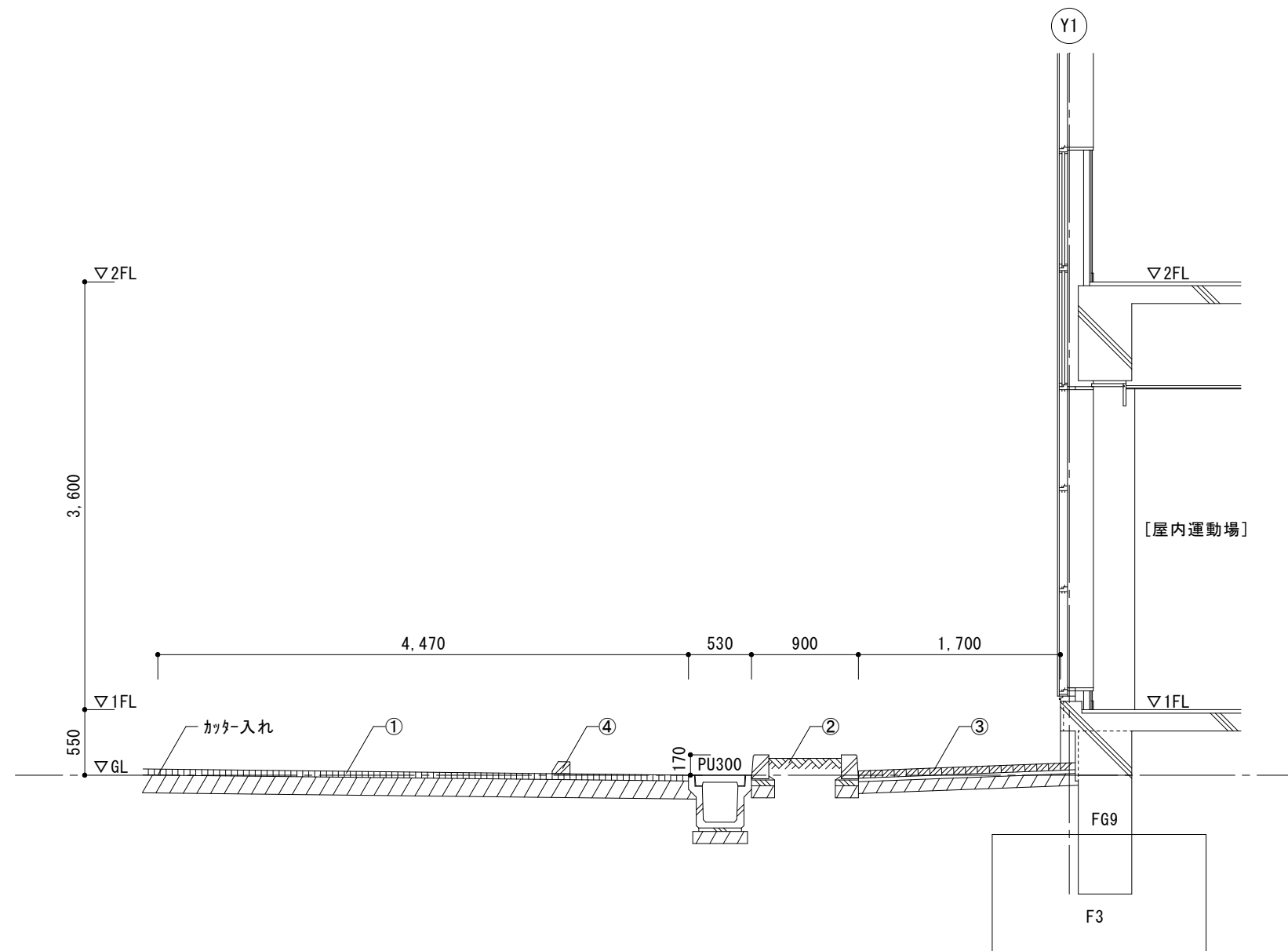
9 管理試験

- (1) 施工日報（改良厚さ、位置、土量、配合量、固化材使用量等）
 - 1) 現場採取供試体
 - 3ヶ所から改良土を採取し、寸法φ5cm×10cmの供試体を 3個/箇所作成し、一軸圧縮試験を行う。
 - 2) 材令28日で各箇所の圧縮強度の平均値が設計基準強度を上回ること。
- (2) 固化材散布量、改良厚さの状況写真
 - 配合計画段階で六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計画説明書）を提出する。
 - 試験方法はセメント及びセメント系固化材を使用した改良土壌の六価クロム溶出試験（環境庁第46号（土壌汚染に係る環境基準）による。）
 - 検査攪拌数、検査攪拌層、基準値は下記のものとする。

検体数	1検体
対象層	設計対象層 盛土層（粘性土）
基準値	0.05(mg/リットル) 以下

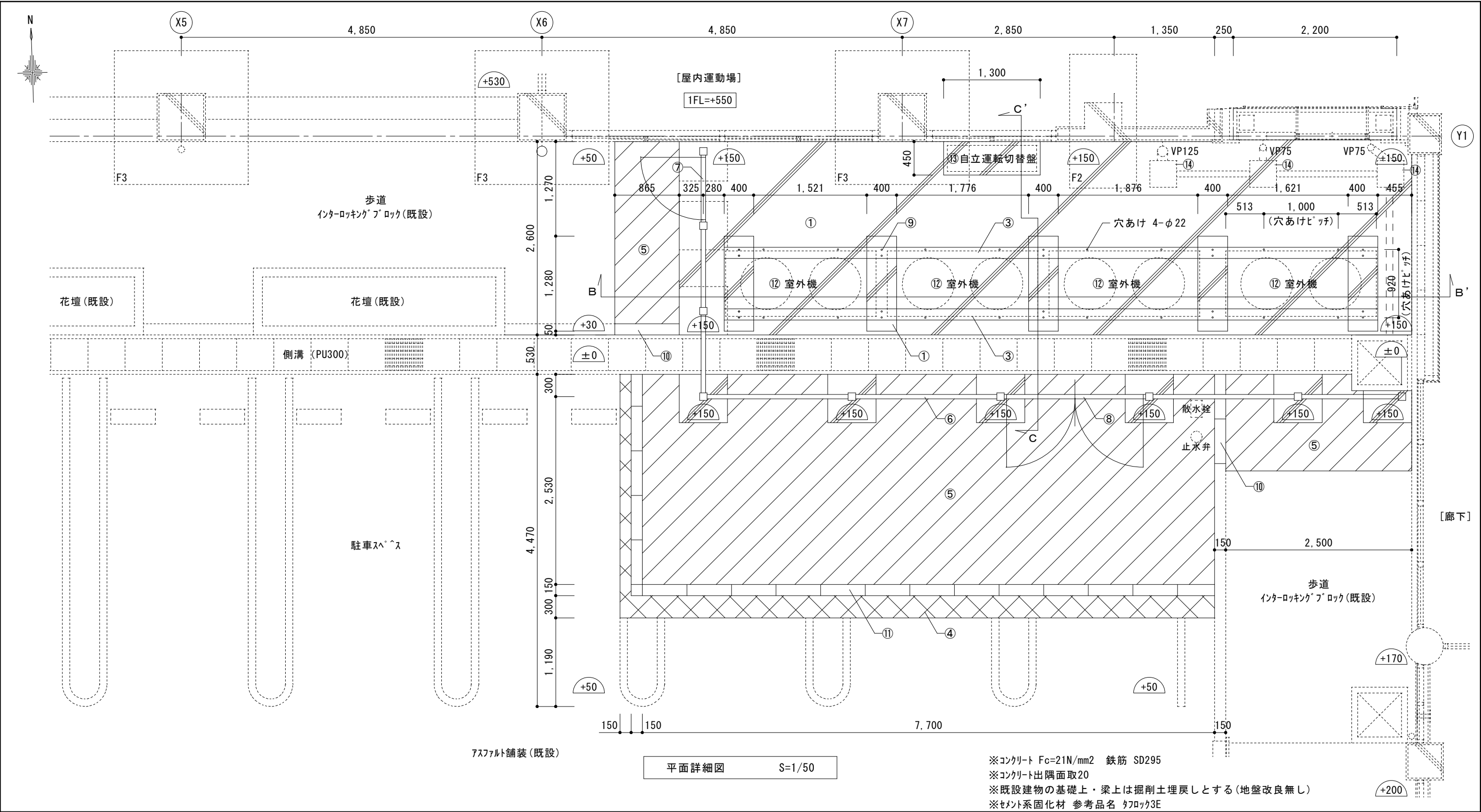



凡 例																	
符号	記号	名称・仕様	処理	数量	単位	符号	記号	名称・仕様	処理	数量	単位	符号	記号	名称・仕様	処理	数量	単位
①		アスファルト舗装 t50、RC-40 t150	撤去(カッター入)	25.0	m2	⑥		雨水排水管 VP125 VP75	撤去	3	ヶ所						
②		花壇	撤去	6.1	m2												
③		インターロッキングブロック t60、RC-40 t100	撤去	24.3	m2												
④		歩車道境界ブロック W150	撤去	4.6	m												
⑤		車止め L600	撤去	6	ヶ所												

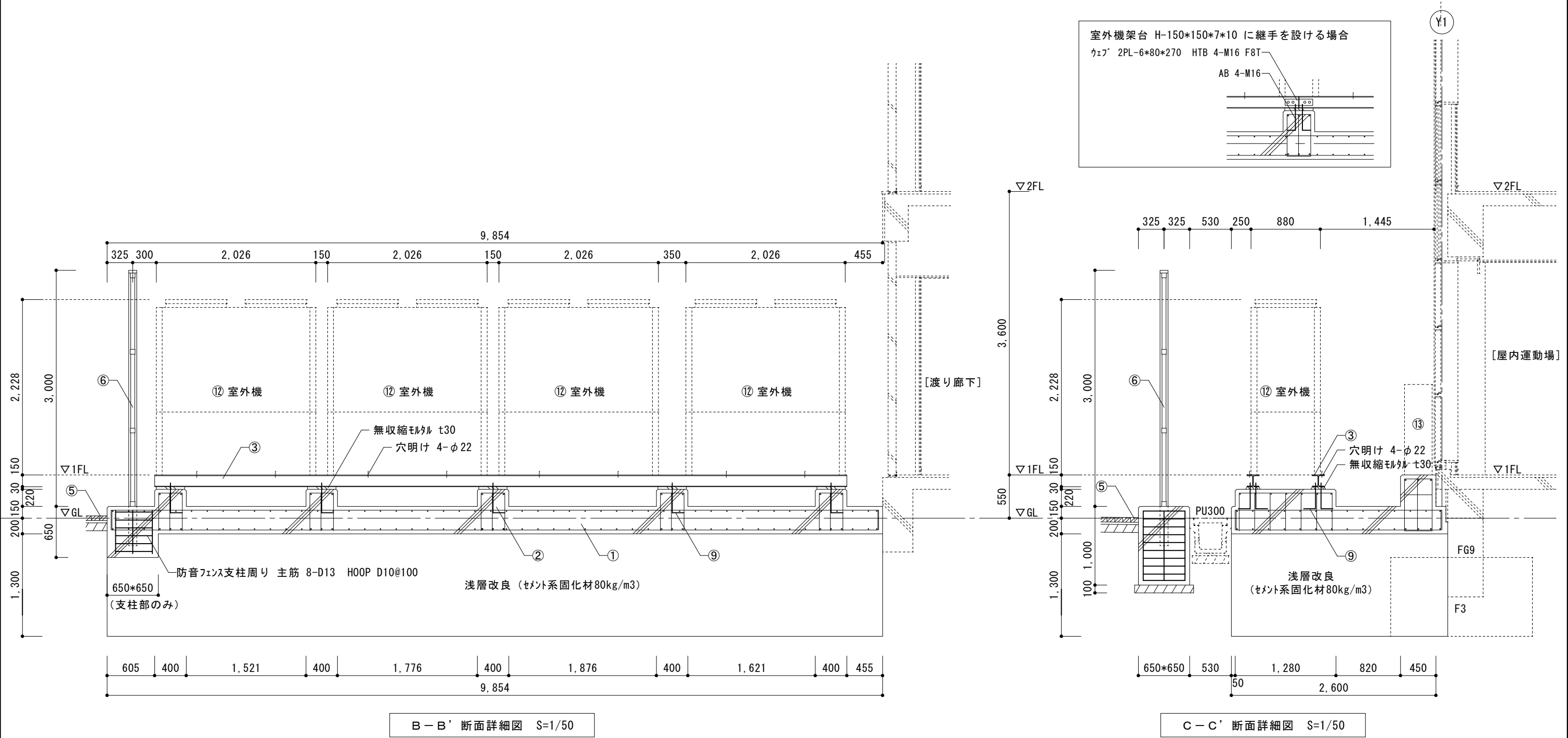


凡 例

[illegible]



凡 例														
符号	記号	改修内容	数量	単位	符号	記号	改修内容	数量	単位	符号	記号	改修内容	数量	単位
①		コンクリート基礎 ベ`タ基礎部 t350 鉄筋D10@200クロスバ`ル	25.7	m2	⑥		防音目隠しフェンス H3000 埋込深さ500	12.7	m	⑨		AB-M16 亜鉛鍍金製 有効埋込長さ L=250 DN 樹脂キャップ	20	ヶ所
		梁型部 1280*400 上下主筋 3-D13 ST D10@200	6	ヶ所			支柱周り 主筋 8-D13 H00P D10@100			⑩		歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ W150	2.1	m
③		室外機架台 H-150*150*7*10 溶融亜鉛鍍金 AB穴あけ 室外機固定穴あけ	2	ヶ所			(参考品名 リカル防音めかくしフェンスMB-2型(遮音ﾀｲﾌﾟ)間仕切りﾀｲﾌﾟ)			⑪		地先境界ﾌﾞﾛｯｸ W150	10.7	m
④		ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装復旧 t50 (密粒度ｱｽｺﾝA-5-15)、RC-40 t150	2.8	m2	⑦		防音目隠しフェンス用門扉 片開扉 レﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠	1	ヶ所	⑫		室外機 (別途空調工事)	4	台
⑤		ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt60 砂t30 RC-40 t100	24.6	m2	⑧		防音目隠しフェンス用門扉 両開扉 レﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠 ﾌﾗﾝｽ落ｼ	1	ヶ所	⑬		自立運転切替盤 (別途空調工事)	1	台
										⑭		雨水枘及び埋設排水管 VP150 新設 (既設集水樹に接続)	3	ヶ所
設計監理		大 垣 市 都 市 計 画 部 建 築 課 ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL		設計年度	工事名称 北小学校ほか１校 屋内運動場空調機設置（建築）工事				図名 （宇留生小）室外機周り平面詳細図（改修後）				図番 ２ ７ ／ ２ ８	
令和 7 年														



※コンクリート Fc=21N/mm2 鉄筋 SD295 ※既設建物の基礎上・梁上は掘削土埋戻しとする(地盤改良無し)
※コンクリート出隅面取20 ※セメント系固化材 参考品名 クワロック3E

凡 例														
符号	記号	改修内容	数量	単位	符号	記号	改修内容	数量	単位	符号	記号	改修内容	数量	単位
①		コンクリート基礎 ベタ基礎部 t350 鉄筋D10@200クロスダブル	25.7	m2	⑥		防音目隠しフェンス H3000 埋込深さ500	12.7	m	⑨		AB-M16 亜鉛鍍金製 有効埋込長さ L=250 DN 樹脂キャップ	20	ヶ所
		梁型部 1280*400 上下主筋 3-D13 ST D10@200	6	ヶ所			支柱周り 主筋 8-D13 H00P D10@100			⑩		歩車道境界ブロック W150	2.1	m
③		室外機架台 H-150*150*7*10 溶融亜鉛鍍金 AB穴あけ 室外機固定穴あけ	2	ヶ所			(参考品名 リカル防音めかくしフェンスMB-2型(遮音タイプ)間仕切タイプ)			⑪		地先境界ブロック W150	10.7	m
④		アスファルト舗装復旧 t50 (密粒度アスコンA-5-15)、RC-40 t150	2.8	m2			⑦		防音目隠しフェンス用門扉 片開扉 レバーハンドル錠	1	ヶ所	⑫		室外機 (別途空調工事)
⑤		インターロッキングブロックt60 砂t30 RC-40 t100	24.6	m2	⑧		防音目隠しフェンス用門扉 両開扉 レバーハンドル錠 フランス落シ	1	ヶ所	⑬		自立運転切替盤 (別途空調工事)	1	台
										⑭		雨水枘及び埋設排水管 VP150 新設 (既設集水枘に接続)	3	ヶ所